

若者WEBアンケート報告書

目次

I 調査概要	1
1 調査目的.....	1
2 調査期間.....	1
3 調査対象者	1
4 調査方法.....	1
5 設問内容.....	1
6 回答者数.....	1
II 回答者の属性	2
III 設問毎の回答状況	4
1 あなたは現在住んでいる地域（居住地）に愛着や親しみがありますか。	4
2 あなたは現在住んでいる地域（居住地）での暮らしに満足していますか。	6
3 今あなたが不満に感じる分野を2つ選んでください（前問で「どちらかといえば満足していない」「満足していない」と回答した場合。）。	8
4 将来あなたが住む地域（居住地）を選ぶときに、どんなことを重要視したいですか。優先するものを3つ程度選んでください。	11
5 10年後も宮城県で暮らし続けたい（戻って暮らしたい）と思いませんか。	16
6 宮城県外で暮らすことを選ぶ理由があれば簡潔に記載ください（前問で「県外に転出したい」と回答した場合。）。	19
7 これからも多くの若者に宮城県で住み続けてもらうためには、どのようなことが必要であると思いませんか。優先するものを3つ程度選んでください。	23
8 こんな宮城県であってほしいという思いがあれば自由に記載ください。	28

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、本県に在住又は本県出身の若者の意識を調査し、次期総合計画の策定や今後の県政運営推進のための参考とすることを目的とする。

2 調査期間

令和元年10月28日（月）から令和2年2月29日（土）

3 調査対象者

本県に在住又は本県出身の15歳から30歳程度の方

4 調査方法

WEBアンケートによる調査

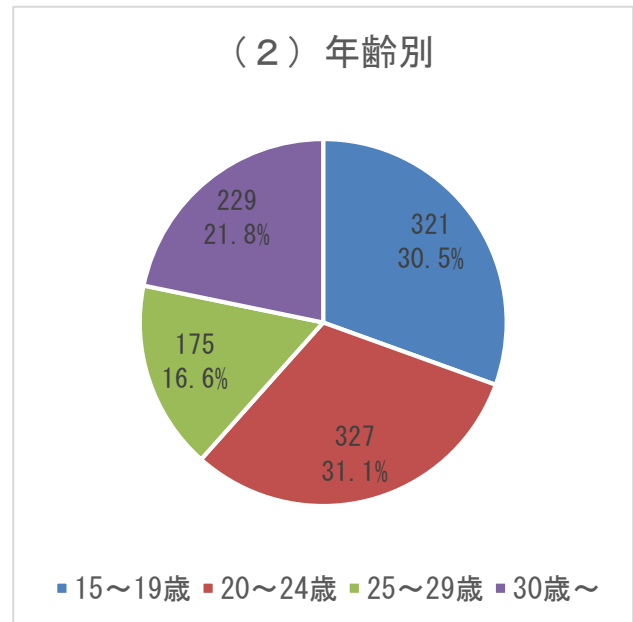
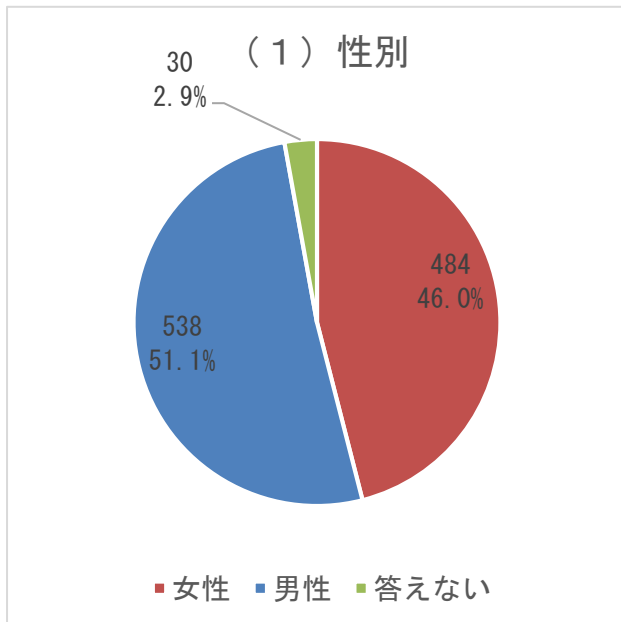
5 設問内容

- (1) 『現在住んでいる地域（現在居住地）に愛着や親しみがあるか』について、6つの選択肢（「ある」「どちらかといえばある」「どちらかといえばない」「まったくない」「わからない」「宮城県に住んでいない」）から1つを回答。
- (2) 『現在住んでいる地域（現在地）での暮らしに満足しているか』について、6つの選択肢（「満足している」「どちらかといえば満足している」「どちらかといえば満足していない」「満足していない」「どちらともいえない」「宮城県に住んでいない」）から1つを回答。
- (3) 『不満を感じている分野は何か』について、11の選択肢から2つ程度回答。
（(2)で「どちらかといえば満足していない」「満足していない」と回答した場合）
- (4) 『将来住む地域（居住地）を選ぶときにどんなことを重要視したいか』について、19の選択肢から3つ程度回答。
- (5) 『10年後も宮城県で暮らし続けたい（又は、戻って暮らしたい）か』について、4つの選択肢（「住み続けたい」「一旦転出する（予定）がまた戻ってきたい」「県外に転出したい」「まだわからない」）から1つを回答。
- (6) 『県外で暮らしたい理由は何か』について（自由回答。(5)で「県外に転出したい」と回答した場合）
- (7) 『これからも多くの若者に宮城県で住み続けてもらうためにはどのような取組が必要か』について、22の選択肢から3つ程度回答。
- (8) 『こんな宮城県であってほしいという思い』について（自由回答）

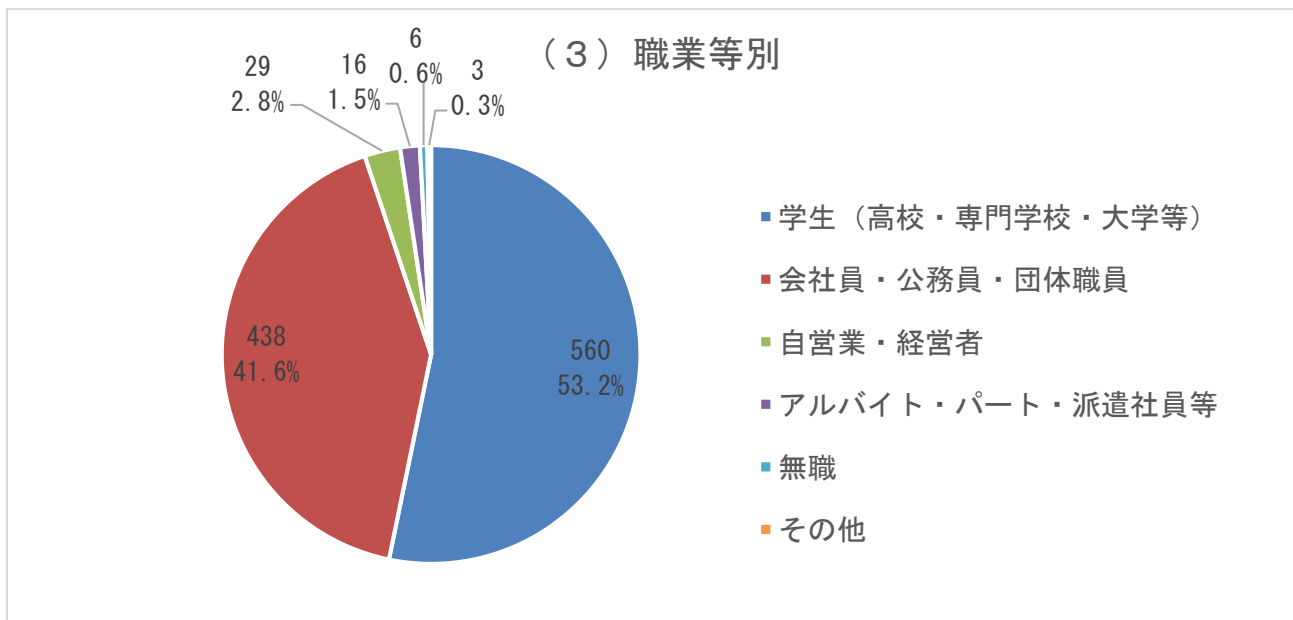
6 回答者数

1,052人

II 回答者の属性

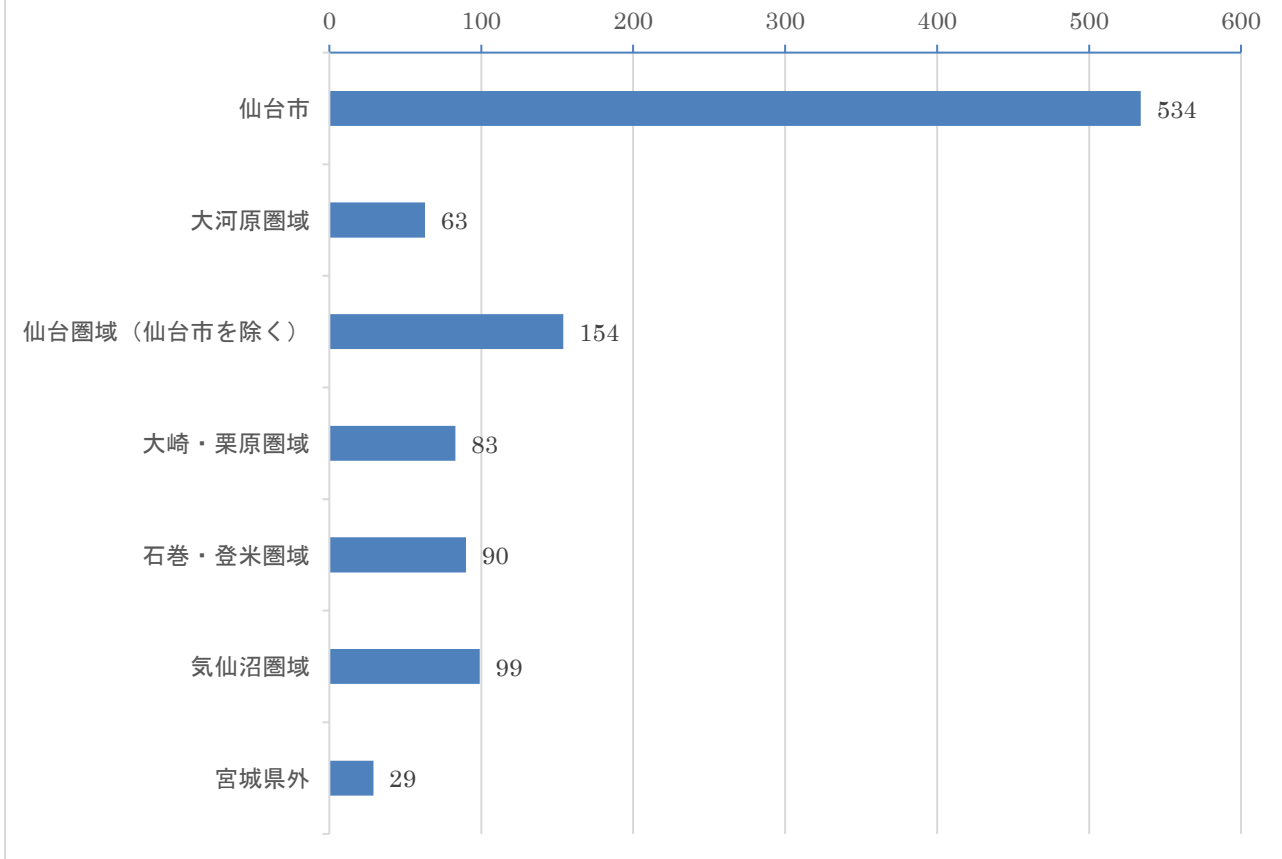


- ◇ 性別は男性の回答が 51.1%，女性が 46.0%と概ね半数ずつを占めている。
- ◇ 「15 歳～19 歳」「20 歳～24 歳」が約 6 割となり，比較的若い年齢層からの回答が多い。



- ◇ 学生の回答が 53.2%と半数以上を占めている。
- ◇ 次いで会社員・公務員・団体職員の回答が 41.6%と高くなっている。

(4) 居住地別



※各圏域に含まれる市町村

大河原圏域…白石市, 角田市, 蔵王町, 七ヶ宿町, 大河原町, 村田町, 柴田町, 川崎町, 丸森町

仙台圏域 (仙台市を除く) …塩竈市, 名取市, 多賀城市, 岩沼市, 富谷市, 亶理町, 山元町, 松島町, 七ヶ浜町, 利府町, 大和町, 大郷町, 大衡村

大崎・栗原圏域…栗原市, 大崎市, 色麻町, 加美町, 涌谷町, 美里町

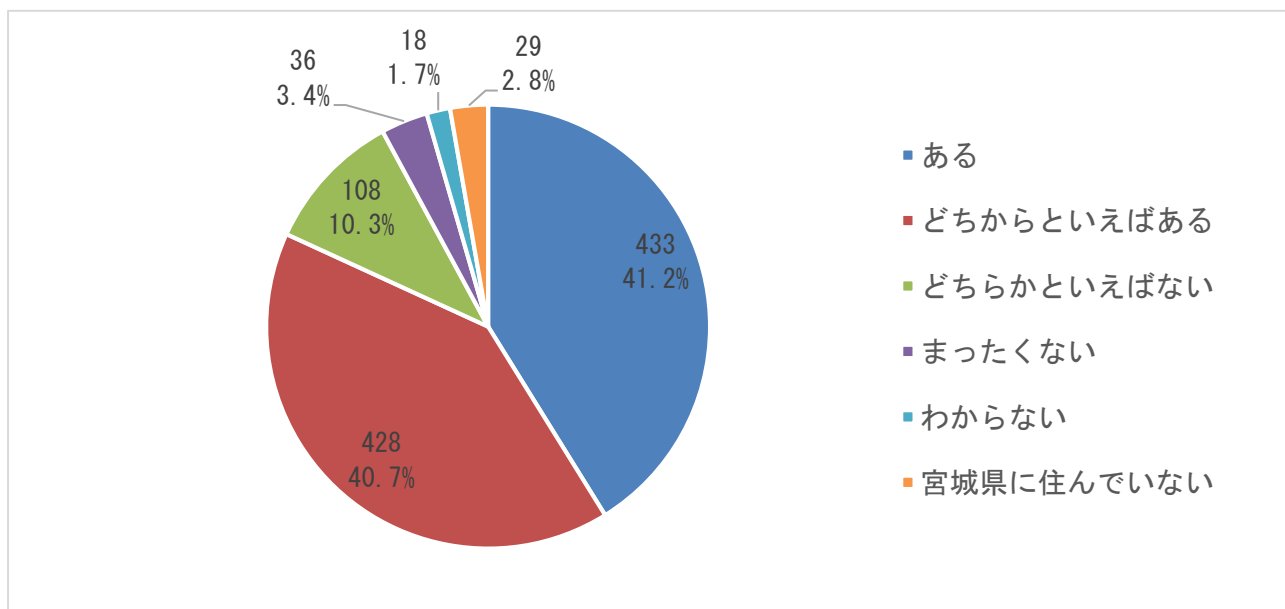
石巻・登米圏域…石巻市, 登米市, 東松島市, 女川町

気仙沼圏域…気仙沼市, 南三陸町

- ◇ 仙台市の回答人数は全体の回答数の半数を占めるが、県内の総人口に占める仙台市に居住地をおく人の割合 (約 47%) とほぼ同じ割合となっている。
- ◇ 次いで回答数が多かったのが「仙台圏域 (仙台市を除く) (154 件)」で、「気仙沼圏域 (99 件)」, 「石巻・登米圏域 (90 件)」, 「大崎・栗原圏域 (83 件)」, 「大河原圏域 (63 件)」, 「宮城県外 (29 件)」と続いている。

Ⅲ 設問毎の回答状況

1 あなたは現在住んでいる地域（居住地）に愛着や親しみがありますか。



◇ 「ある」「どちらかといえばある」と答えた人の割合（愛着や親しみがある割合）は、全体で81.9%となっている。

◇ 愛着や親しみがある割合を年齢別にみると、「20歳～24歳」で84.4%と最も高く、「25歳～29歳」で77.2%と最も低い。

◇ 居住地別にみると、「仙台市」で85.2%、「仙台圏域（仙台市を除く）」で89%と高くなっている。

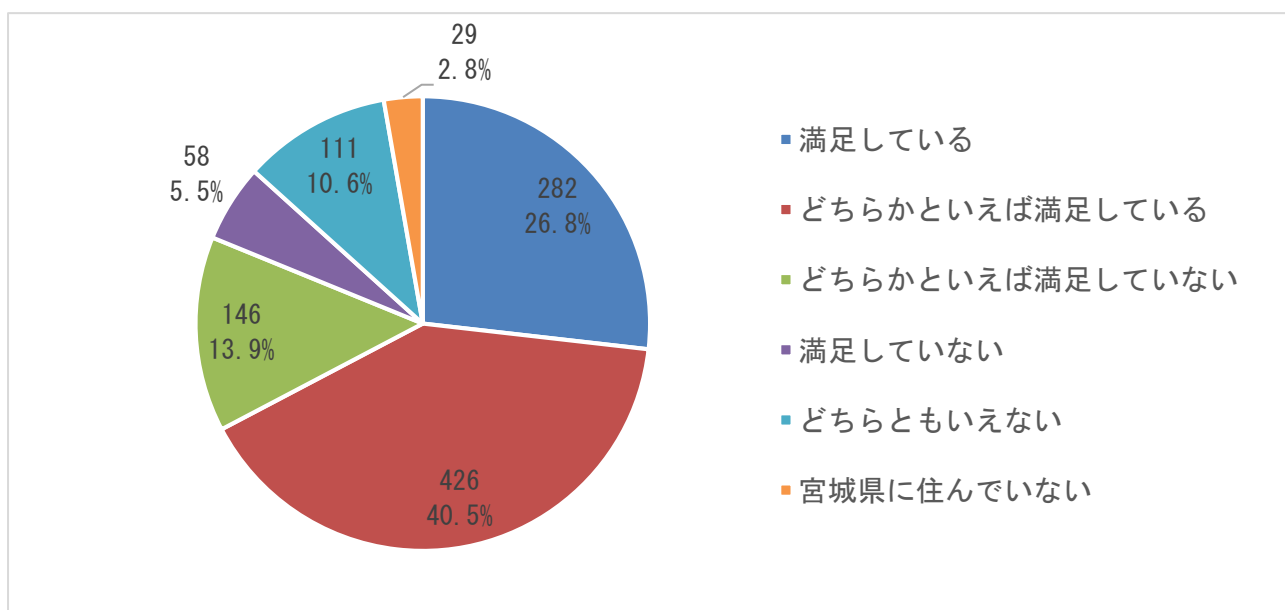
■性別	全体		女性		男性		答えない	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
回答者数(人)	1052		484		538		30	
ある	433	41.2	194	40.1	230	42.8	9	30.0
どちらかといえばある	428	40.7	210	43.4	205	38.1	13	43.3
どちらかといえばない	108	10.3	52	10.7	54	10.0	2	6.7
まったくない	36	3.4	14	2.9	19	3.5	3	10.0
わからない	18	1.7	6	1.2	9	1.7	3	10.0
宮城県に住んでいない	29	2.8	8	1.7	21	3.9	0	0.0

■年齢別	全体		15～19歳		20～24歳		25～29歳		30歳～	
	回答者数(人)	1052		321		327		175		229
ある	433	41.2	125	38.9	139	42.5	64	36.6	105	45.9
どちらかといえばある	428	40.7	139	43.3	137	41.9	71	40.6	81	35.4
どちらかといえはない	108	10.3	32	10.0	31	9.5	22	12.6	23	10.0
まったくない	36	3.4	16	5.0	4	1.2	6	3.4	10	4.4
わからない	18	1.7	8	2.5	4	1.2	5	2.9	1	0.4
宮城県に住んでいない	29	2.8	1	0.3	12	3.7	7	4.0	9	3.9

■職業等別	全体		学生(高校生・専門 門学校生・大学生等)		社会人(会社員・ 自営業・アルバイト等)ほか	
	回答者数(人)	1052		560		492
ある	433	41.2	230	41.1	203	41.3
どちらかといえばある	428	40.7	236	42.1	192	39.0
どちらかといえはない	108	10.3	52	9.3	56	11.4
まったくない	36	3.4	20	3.6	16	3.3
わからない	18	1.7	10	1.8	8	1.6
宮城県に住んでいない	29	2.8	12	2.1	17	3.5

■居住地別	全体		仙台市		大河原 圏域		仙台圏域 (仙台市を除く)		大崎・ 栗原圏域		石巻・ 登米圏域		気仙沼 圏域		宮城県外	
	回答者数(人)	1052		534		63		154		83		90		99		29
ある	433	41.2	234	43.8	32	50.8	69	44.8	33	39.8	26	28.9	39	39.4	0	0.0
どちらかといえばある	428	40.7	221	41.4	18	28.6	68	44.2	31	37.3	46	51.1	44	44.4	0	0.0
どちらかといえはない	108	10.3	56	10.5	8	12.7	14	9.1	14	16.9	7	7.8	9	9.1	0	0.0
まったくない	36	3.4	15	2.8	1	1.6	2	1.3	4	4.8	8	8.9	6	6.1	0	0.0
わからない	18	1.7	8	1.5	4	6.3	1	0.6	1	1.2	3	3.3	1	1.0	0	0.0
宮城県に住んでいない	29	2.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	29	100.0

2 あなたは現在住んでいる地域（居住地）での暮らしに満足していますか。



◇ 「満足している」「どちらかといえば満足している」と答えた人の割合（満足群の割合）は、全体で67.3%である。

◇ 満足群の割合を年齢別にみると、「20歳～24歳」で76.2%と最も高く、「25歳～29歳」で60.5%と最も低い。また、職業等別にみると、「学生」が70.5%であり、「社会人ほか」の63.6%よりも高い。

◇ 居住地別にみると、「仙台市」で81.5%と高い一方で、「大河原圏域」で50.8%、「石巻・登米圏域」で51.2%、「気仙沼圏域」で37.4%と低くなっている。

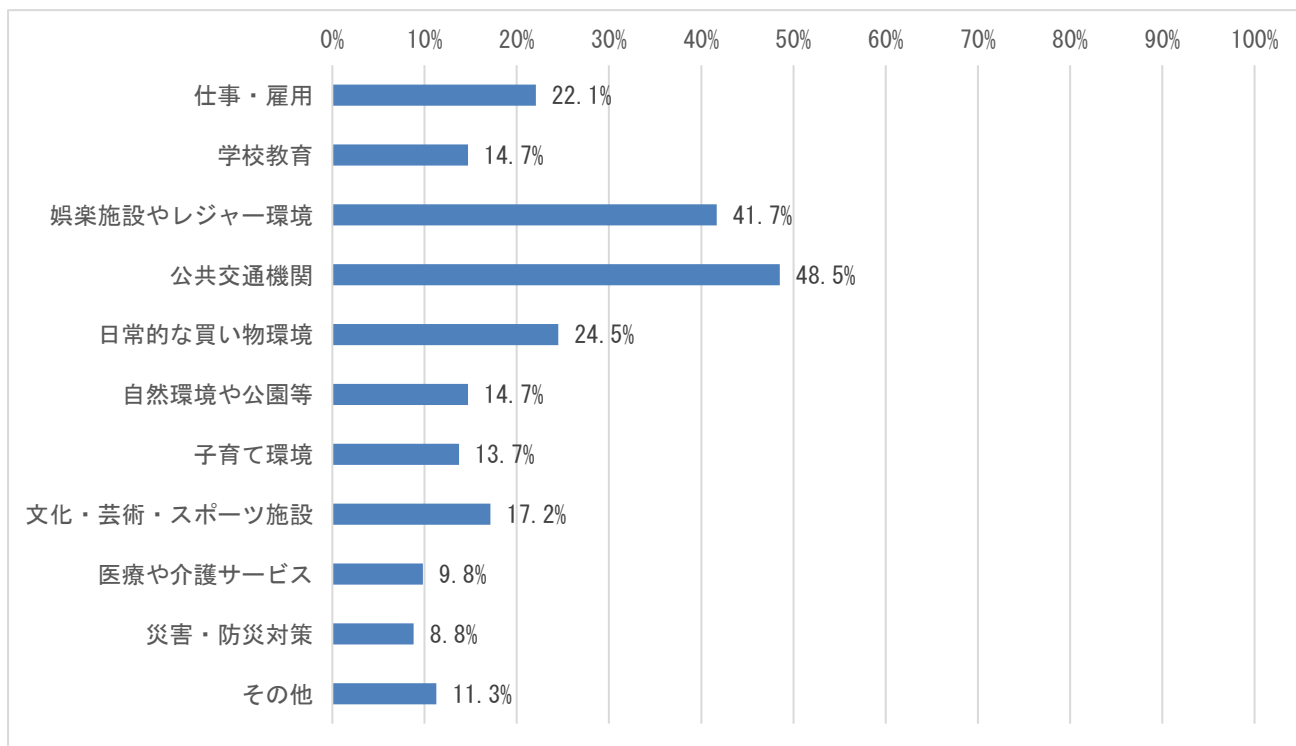
■ 性別	全体		女性		男性		答えない	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答者数(人)	1052		484		538		30	
満足している	282	26.8	125	25.8	148	27.5	9	30.0
どちらかといえば満足している	426	40.5	214	44.2	202	37.5	10	33.3
どちらかといえば満足していない	146	13.9	62	12.8	81	15.1	3	10.0
満足していない	58	5.5	17	3.5	37	6.9	4	13.3
どちらともいえない	111	10.6	58	12.0	49	9.1	4	13.3
宮城県に住んでいない	29	2.8	8	1.7	21	3.9	0	0.0

■年齢別	全体		15～19歳		20～24歳		25～29歳		30歳～	
	回答者数(人)	1052		321		327		175		229
満足している	282	26.8	84	26.2	102	31.2	41	23.4	55	24.0
どちらかといえば満足している	426	40.5	126	39.3	147	45.0	65	37.1	88	38.4
どちらかといえば満足していない	146	13.9	43	13.4	36	11.0	26	14.9	41	17.9
満足していない	58	5.5	19	5.9	9	2.8	11	6.3	19	8.3
どちらともいえない	111	10.6	48	15.0	21	6.4	25	14.3	17	7.4
宮城県に住んでいない	29	2.8	1	0.3	12	3.7	7	4.0	9	3.9

■職業等別	全体		学生(高校生・専門 門学校生・大学 生等)		社会人(会社員・ 自営業・アルバイ ト等)ほか	
	回答者数(人)	1052		560		492
満足している	282	26.8	163	29.1	118	24.0
どちらかといえば満足している	426	40.5	232	41.4	195	39.6
どちらかといえば満足していない	146	13.9	63	11.3	83	16.9
満足していない	58	5.5	27	4.8	31	6.3
どちらともいえない	111	10.6	63	11.3	48	9.8
宮城県に住んでいない	29	2.8	12	2.1	17	3.5

■居住地別	全体		仙台市		大河原 圏域		仙台圏域 (仙台市を除く)		大崎・ 栗原圏域		石巻・ 登米圏域		気仙沼 圏域		宮城県外	
	回答者数(人)	1052		534		63		154		83		90		99		29
満足している	282	26.8	189	35.4	15	23.8	42	27.3	13	15.7	14	15.6	9	9.1	0	0.0
どちらかといえば満足している	426	40.5	246	46.1	17	27.0	61	39.6	42	50.6	32	35.6	28	28.3	0	0.0
どちらかといえば満足していない	146	13.9	43	8.1	19	30.2	29	18.8	13	15.7	11	12.2	31	31.3	0	0.0
満足していない	58	5.5	12	2.2	4	6.3	8	5.2	8	9.6	11	12.2	15	15.2	0	0.0
どちらともいえない	111	10.6	44	8.2	8	12.7	14	9.1	7	8.4	22	24.4	16	16.2	0	0.0
宮城県に住んでいない	29	2.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	29	100.0

3 今あなたが不満に感じる分野を2つ選んでください（前問で「どちらかといえば満足していない」「満足していない」と回答した場合。）。



「その他」の主な内容

- ▶路上喫煙が多すぎる、禁止されているところも形だけで取り締まりもない。（女・25～29歳）
- ▶道路が渋滞しやすい。大型ショッピングモールができるのでさらに交通事情が悪化しそう。（男・30歳～）
- ▶子育てではなく子どもが育つ環境として、道路に歩道がない、自然で遊んでいると山や川が危ないと小学校に通報されるなど肩身が狭い。（女・25～29歳）

- ◇ 「公共交通機関」が48.5%、「娯楽施設やレジャー環境」が41.7%と不満度が高い割合となっており、その傾向は全ての年齢で共通している。また、「30歳～」では、「子育て環境」が26.7%、「医療・介護サービス」が18.3%、「災害・防災対策」が15%と他の年齢層と比較して不満に感じる分野が異なる。
- ◇ 不満度が高い分野を職業等別にみると、「学生」では「公共交通機関」が55.6%、「娯楽施設やレジャー環境」が53.3%、「日常的な買い物環境」が31.1%となっており、「社会人ほか」では「仕事・雇用」が27.2%、「子育て環境」が17.5%、「医療や介護サービス」が14%となっている。
- ◇ 居住地別にみると、「仙台市」を除く他の地域で「娯楽施設やレジャー環境」が高くなっている。また、特に「大河原圏域」と「仙台圏域（仙台市を除く）」では「公共交通機関」が高くなっている。

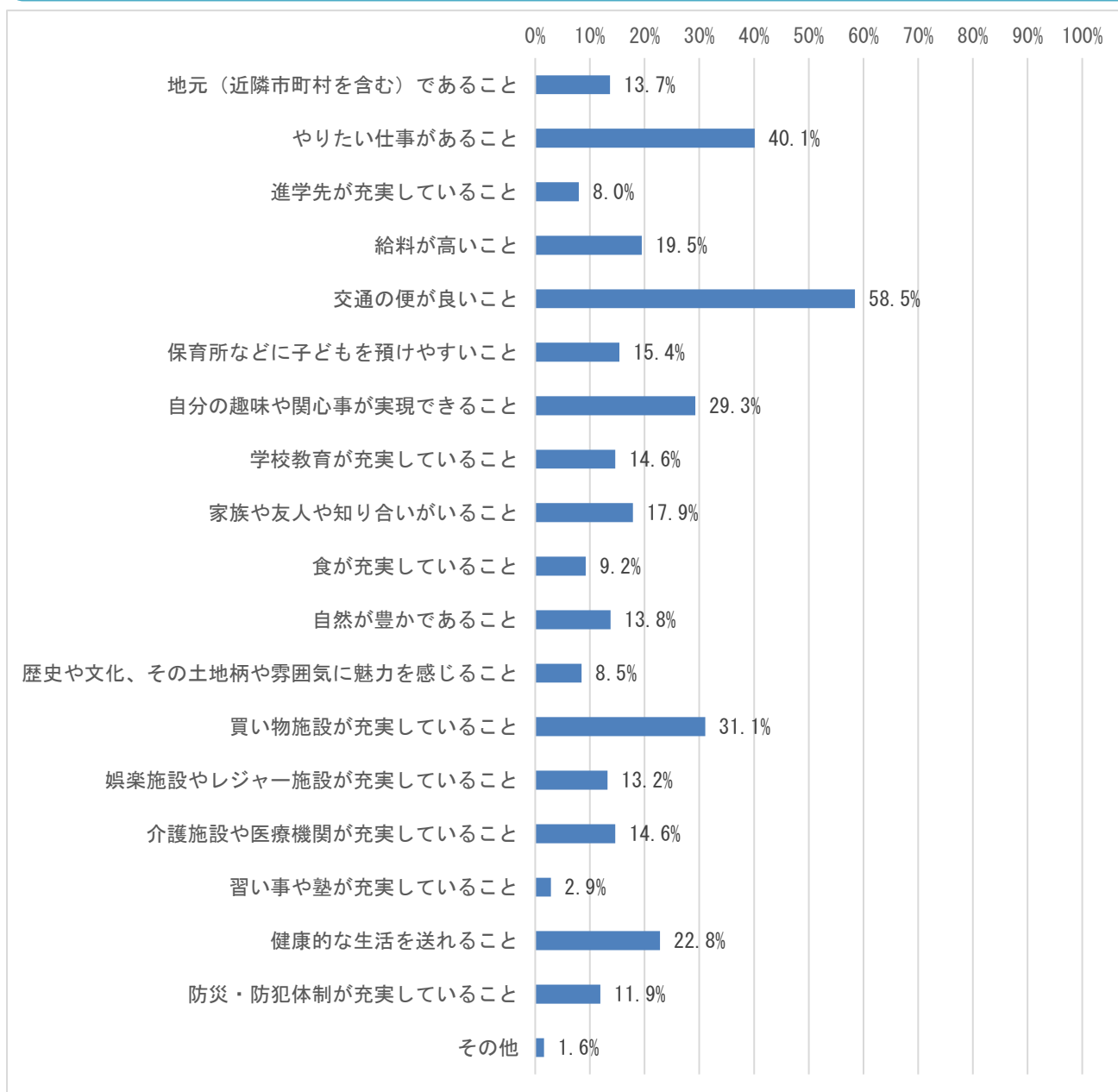
■性別	全体		女性		男性		答えない	
	回答者数(人)							
	204		79		118		7	
仕事・雇用	45	22.1	15	19.0	28	23.7	2	28.6
学校教育	30	14.7	11	13.9	17	14.4	2	28.6
娯楽施設やレジャー環境	85	41.7	32	40.5	51	43.2	2	28.6
公共交通機関	99	48.5	39	49.4	57	48.3	3	42.9
日常的な買い物環境	50	24.5	16	20.3	32	27.1	2	28.6
自然環境や公園等	30	14.7	10	12.7	19	16.1	1	14.3
子育て環境	28	13.7	10	12.7	16	13.6	2	28.6
文化・芸術・スポーツ施設	35	17.2	11	13.9	22	18.6	2	28.6
医療や介護サービス	20	9.8	8	10.1	10	8.5	2	28.6
災害・防災対策	18	8.8	7	8.9	9	7.6	2	28.6
その他	23	11.3	10	12.7	11	9.3	2	28.6

■年齢別	全体		15～19歳		20～24歳		25～29歳		30歳～	
	回答者数(人)									
	204		62		45		37		60	
仕事・雇用	45	22.1	10	16.1	9	20.0	11	29.7	15	25.0
学校教育	30	14.7	13	21.0	6	13.3	1	2.7	10	16.7
娯楽施設やレジャー環境	85	41.7	37	59.7	18	40.0	20	54.1	10	16.7
公共交通機関	99	48.5	29	46.8	28	62.2	19	51.4	23	38.3
日常的な買い物環境	50	24.5	22	35.5	10	22.2	8	21.6	10	16.7
自然環境や公園等	30	14.7	12	19.4	5	11.1	6	16.2	7	11.7
子育て環境	28	13.7	5	8.1	5	11.1	2	5.4	16	26.7
文化・芸術・スポーツ施設	35	17.2	10	16.1	6	13.3	10	27.0	9	15.0
医療や介護サービス	20	9.8	3	4.8	3	6.7	3	8.1	11	18.3
災害・防災対策	18	8.8	6	9.7	2	4.4	1	2.7	9	15.0
その他	23	11.3	1	1.6	2	4.4	6	16.2	14	23.3

■職業等別	全体		学生(高校生・専門 学校生・大学生等)		社会人(会社員・ 自営業・アルバイト等)ほか	
	回答者数(人)					
回答者数(人)	204		90		114	
仕事・雇用	45	22.1	14	15.6	31	27.2
学校教育	30	14.7	17	18.9	13	11.4
娯楽施設やレジャー環境	85	41.7	48	53.3	37	32.5
公共交通機関	99	48.5	50	55.6	49	43.0
日常的な買い物環境	50	24.5	28	31.1	22	19.3
自然環境や公園等	30	14.7	12	13.3	18	15.8
子育て環境	28	13.7	8	8.9	20	17.5
文化・芸術・スポーツ施設	35	17.2	13	14.4	22	19.3
医療や介護サービス	20	9.8	4	4.4	16	14.0
災害・防災対策	18	8.8	8	8.9	10	8.8
その他	23	11.3	2	2.2	21	18.4

■居住地別	全体		仙台市		大河原 圏域		仙台圏域 (仙台市を除く)		大崎・ 栗原圏域		石巻・ 登米圏域		気仙沼 圏域		宮城県外	
	回答者数(人)															
回答者数(人)	204		55		23		37		21		22		46		0	
仕事・雇用	45	22.1	13	23.6	8	34.8	4	10.8	5	23.8	5	22.7	10	21.7	0	0.0
学校教育	30	14.7	12	21.8	3	13.0	6	16.2	3	14.3	2	9.1	4	8.7	0	0.0
娯楽施設やレジャー環境	85	41.7	15	27.3	10	43.5	15	40.5	9	42.9	9	40.9	27	58.7	0	0.0
公共交通機関	99	48.5	20	36.4	16	69.6	22	59.5	10	47.6	9	40.9	22	47.8	0	0.0
日常的な買い物環境	50	24.5	7	12.7	8	34.8	9	24.3	3	14.3	5	22.7	18	39.1	0	0.0
自然環境や公園等	30	14.7	10	18.2	2	8.7	3	8.1	4	19.0	3	13.6	8	17.4	0	0.0
子育て環境	28	13.7	10	18.2	2	8.7	3	8.1	3	14.3	3	13.6	7	15.2	0	0.0
文化・芸術・スポーツ施設	35	17.2	9	16.4	3	13.0	7	18.9	2	9.5	5	22.7	9	19.6	0	0.0
医療や介護サービス	20	9.8	2	3.6	4	17.4	3	8.1	3	14.3	3	13.6	5	10.9	0	0.0
災害・防災対策	18	8.8	3	5.5	7	30.4	0	0.0	3	14.3	4	18.2	1	2.2	0	0.0
その他	23	11.3	7	12.7	2	8.7	7	18.9	1	4.8	1	4.5	5	10.9	0	0.0

4 将来あなたが住む地域（居住地）を選ぶときに、どんなことを重要視したいですか。優先するものを3つ程度選んでください。



「その他」の主な内容

- ▶人と繋がる仕組みや機関があること。（男・30歳～）
- ▶子供がいるため、公園の遊具が充実していると嬉しい。（男・30歳～）
- ▶家賃が安いこと。（女・25～29歳）

◇ 全体的にみて重要視している割合が高いのは、「交通の便が良いこと」58.5%、「やりたい仕事があること」40.1%、「買い物施設が充実していること」31.1%、「自分の趣味や関心事が実現できること」29.3%である。

- ◇ 年齢別にみると、「交通の便が良いこと」は「25歳～29歳」で70.3%と最も高く、「やりたい仕事があること」は「15歳～19歳」で46.4%、「20歳～24歳」で42.8%と最も高い。
- ◇ 居住地別にみると「交通の便が良いこと」は「大河原圏域」で66.7%と最も高く、次いで「仙台圏域（仙台市を除く）」「仙台市」でも重要視する割合が高い。また、「やりたい仕事があること」は、「宮城県外」で55.2%、「気仙沼圏域」で51.5%と高くなっている。

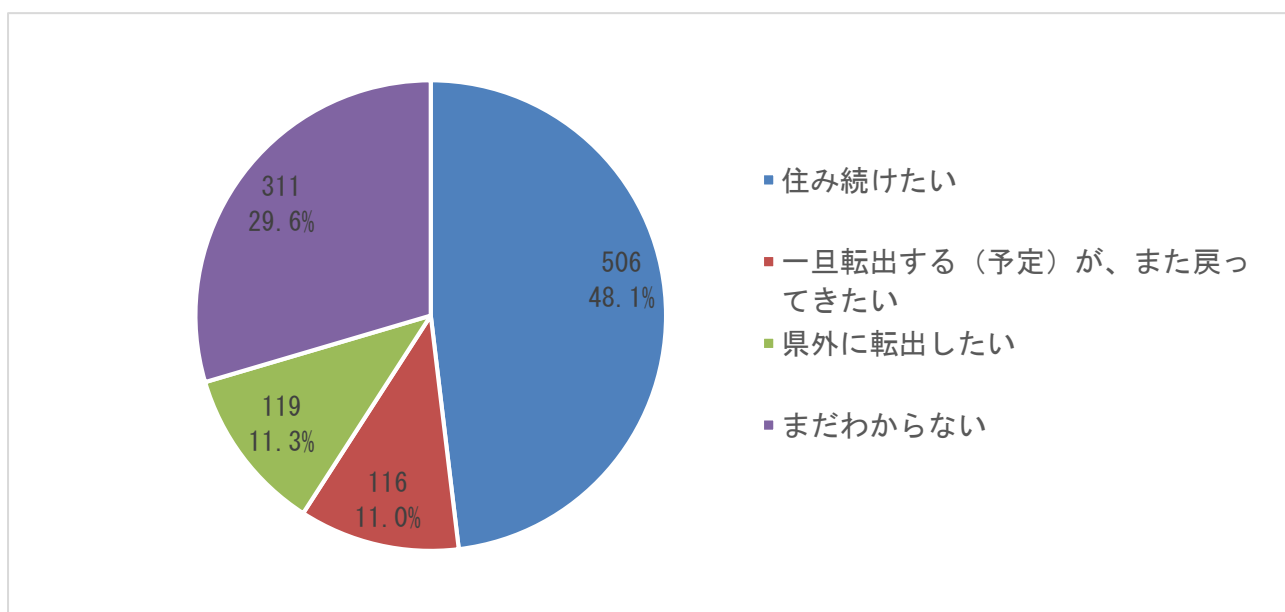
■性別	全体		女性		男性		答えない	
	回答者数(人)							
回答者数(人)	1052		484		538		30	
地元(近隣市町村を含む)であること	144	13.7	64	13.2	76	14.1	4	13.3
やりたい仕事があること	422	40.1	188	38.8	217	40.3	17	56.7
進学先が充実していること	84	8.0	33	6.8	49	9.1	2	6.7
給料が高いこと	205	19.5	76	15.7	118	21.9	11	36.7
交通の便が良いこと	615	58.5	300	62.0	300	55.8	15	50.0
保育所などに子どもを預けやすいこと	162	15.4	92	19.0	68	12.6	2	6.7
自分の趣味や関心事が実現できること	308	29.3	119	24.6	175	32.5	14	46.7
学校教育が充実していること	154	14.6	65	13.4	84	15.6	5	16.7
家族や友人や知り合いがいること	188	17.9	95	19.6	88	16.4	5	16.7
食が充実していること	97	9.2	39	8.1	53	9.9	5	16.7
自然が豊かであること	145	13.8	63	13.0	74	13.8	8	26.7
歴史や文化、その土地柄や雰囲気の魅力を感じることに	89	8.5	33	6.8	52	9.7	4	13.3
買い物施設が充実していること	327	31.1	178	36.8	139	25.8	10	33.3
娯楽施設やレジャー施設が充実していること	139	13.2	48	9.9	81	15.1	10	33.3
介護施設や医療機関が充実していること	154	14.6	91	18.8	57	10.6	6	20.0
習い事や塾が充実していること	30	2.9	11	2.3	15	2.8	4	13.3
健康的な生活を送れること	240	22.8	111	22.9	118	21.9	11	36.7
防災・防犯体制が充実していること	125	11.9	61	12.6	61	11.3	3	10.0
その他	17	1.6	8	1.7	7	1.3	2	6.7

■年齢別	全体		15～19歳		20～24歳		25～29歳		30歳～	
	回答者数(人)									
地元(近隣市町村を含む)であること	144	13.7	30	9.3	61	18.7	21	12.0	32	14.0
やりたい仕事があること	422	40.1	149	46.4	140	42.8	51	29.1	82	35.8
進学先が充実していること	84	8.0	35	10.9	16	4.9	17	9.7	16	7.0
給料が高いこと	205	19.5	79	24.6	56	17.1	29	16.6	41	17.9
交通の便が良いこと	615	58.5	183	57.0	179	54.7	123	70.3	130	56.8
保育所などに子どもを預けやすいこと	162	15.4	31	9.7	47	14.4	36	20.6	48	21.0
自分の趣味や関心事が実現できること	308	29.3	104	32.4	103	31.5	45	25.7	56	24.5
学校教育が充実していること	154	14.6	38	11.8	42	12.8	26	14.9	48	21.0
家族や友人や知り合いがいること	188	17.9	46	14.3	61	18.7	43	24.6	38	16.6
食が充実していること	97	9.2	27	8.4	35	10.7	15	8.6	20	8.7
自然が豊かであること	145	13.8	46	14.3	37	11.3	31	17.7	31	13.5
歴史や文化、その土地柄や雰囲気の魅力を感じることに	89	8.5	11	3.4	25	7.6	18	10.3	35	15.3
買い物施設が充実していること	327	31.1	122	38.0	97	29.7	56	32.0	52	22.7
娯楽施設やレジャー施設が充実していること	139	13.2	58	18.1	43	13.1	20	11.4	18	7.9
介護施設や医療機関が充実していること	154	14.6	31	9.7	46	14.1	33	18.9	44	19.2
習い事や塾が充実していること	30	2.9	7	2.2	8	2.4	7	4.0	8	3.5
健康的な生活を送れること	240	22.8	68	21.2	77	23.5	49	28.0	46	20.1
防災・防犯体制が充実していること	125	11.9	28	8.7	36	11.0	27	15.4	34	14.8
その他	17	1.6	0	0.0	3	0.9	3	1.7	11	4.8

■職業等別	全体		学生(高校生・専門学校生・大学生等)		社会人(会社員・自営業・アルバイト等)ほか	
	回答者数(人)					
地元(近隣市町村を含む)であること	144	13.7	80	14.3	64	13.0
やりたい仕事があること	422	40.1	268	47.9	154	31.3
進学先が充実していること	84	8.0	49	8.8	35	7.1
給料が高いこと	205	19.5	117	20.9	88	17.9
交通の便が良いこと	615	58.5	308	55.0	307	62.4
保育所などに子どもを預けやすいこと	162	15.4	61	10.9	101	20.5
自分の趣味や関心事が実現できること	308	29.3	182	32.5	126	25.6
学校教育が充実していること	154	14.6	68	12.1	86	17.5
家族や友人や知り合いがいること	188	17.9	89	15.9	99	20.1
食が充実していること	97	9.2	46	8.2	51	10.4
自然が豊かであること	145	13.8	71	12.7	74	15.0
歴史や文化、その土地柄や雰囲気の魅力を感じることに魅力を感じる	89	8.5	28	5.0	61	12.4
買い物施設が充実していること	327	31.1	180	32.1	147	29.9
娯楽施設やレジャー施設が充実していること	139	13.2	84	15.0	55	11.2
介護施設や医療機関が充実していること	154	14.6	66	11.8	88	17.9
習い事や塾が充実していること	30	2.9	14	2.5	16	3.3
健康的な生活を送れること	240	22.8	127	22.7	113	23.0
防災・防犯体制が充実していること	125	11.9	55	9.8	70	14.2
その他	17	1.6	1	0.2	16	3.3

■ 居住地別	全体		仙台市		大河原 圏域		仙台圏域 (仙台市を除く)		大崎・ 栗原圏域		石巻・ 登米圏域		気仙沼 圏域		宮城県外	
	回答者数(人)															
地元(近隣市町村を含む) であること	144	13.7	81	15.2	10	15.9	18	11.7	11	13.3	11	12.2	6	6.1	7	24.1
やりたい仕事があること	422	40.1	214	40.1	25	39.7	50	32.5	27	32.5	39	43.3	51	51.5	16	55.2
進学先が充実していること	84	8.0	41	7.7	8	12.7	12	7.8	2	2.4	6	6.7	11	11.1	4	13.8
給料が高いこと	205	19.5	91	17.0	11	17.5	30	19.5	11	13.3	36	40.0	20	20.2	6	20.7
交通の便が良いこと	615	58.5	331	62.0	42	66.7	97	63.0	41	49.4	40	44.4	50	50.5	14	48.3
保育所などに子どもを預け やすいこと	162	15.4	78	14.6	11	17.5	30	19.5	14	16.9	14	15.6	9	9.1	6	20.7
自分の趣味や関心事が実 現できること	308	29.3	149	27.9	17	27.0	38	24.7	24	28.9	33	36.7	36	36.4	11	37.9
学校教育が充実しているこ と	154	14.6	77	14.4	9	14.3	28	18.2	15	18.1	15	16.7	7	7.1	3	10.3
家族や友人や知り合いがい ること	188	17.9	107	20.0	8	12.7	21	13.6	18	21.7	14	15.6	14	14.1	6	20.7
食が充実していること	97	9.2	46	8.6	7	11.1	13	8.4	10	12.0	8	8.9	9	9.1	4	13.8
自然が豊かであること	145	13.8	74	13.9	9	14.3	20	13.0	10	12.0	15	16.7	14	14.1	3	10.3
歴史や文化、その土地柄や 雰囲気の魅力を感じるこ と	89	8.5	43	8.1	7	11.1	11	7.1	7	8.4	9	10.0	8	8.1	4	13.8
買い物施設が充実している こと	327	31.1	164	30.7	21	33.3	57	37.0	22	26.5	24	26.7	33	33.3	6	20.7
娯楽施設やレジャー施設が 充実していること	139	13.2	54	10.1	14	22.2	22	14.3	13	15.7	13	14.4	18	18.2	5	17.2
介護施設や医療機関が充 実していること	154	14.6	73	13.7	10	15.9	22	14.3	20	24.1	11	12.2	15	15.2	3	10.3
習い事や塾が充実している こと	30	2.9	10	1.9	3	4.8	7	4.5	2	2.4	3	3.3	4	4.0	1	3.4
健康的な生活を送れること	240	22.8	120	22.5	16	25.4	41	26.6	15	18.1	18	20.0	19	19.2	11	37.9
防災・防犯体制が充実して いること	125	11.9	61	11.4	14	22.2	24	15.6	12	14.5	9	10.0	2	2.0	3	10.3
その他	17	1.6	9	1.7	0	0.0	1	0.6	2	2.4	1	1.1	4	4.0	0	0.0

5 10年後も宮城県で暮らし続けたい（戻って暮らしたい）と思いますか。



- ◇ 全体で見ると「住み続けたい」が48.1%と最も高く、次いで「まだわからない」が29.6%となっている。また、「県外に転出したい」が11.3%とすでに約1割が転出を検討している。
- ◇ 年齢別にみると、「住み続けたい」と答えた割合は、年齢に応じて高い割合になる傾向にある。また、「県外に転出したい」と答えた割合は、「15歳～19歳」で15.3%、「20歳～24歳」で15%となっており、若い年齢層で高い傾向にある。
- ◇ 職業等別にみると、「社会人ほか」は「学生」に比べ「住み続けたい」と答えた割合が高く、「学生」は「社会人ほか」に比べ「一旦転出する（予定）が、また戻ってきたい」「県外に転出したい」と答えた割合が高い。
- ◇ 居住地別にみると、「住み続けたい」と答えた人は「石巻・登米圏域」で31.1%、「気仙沼圏域」で35.4%であり、他の地域よりも低い割合になっている。

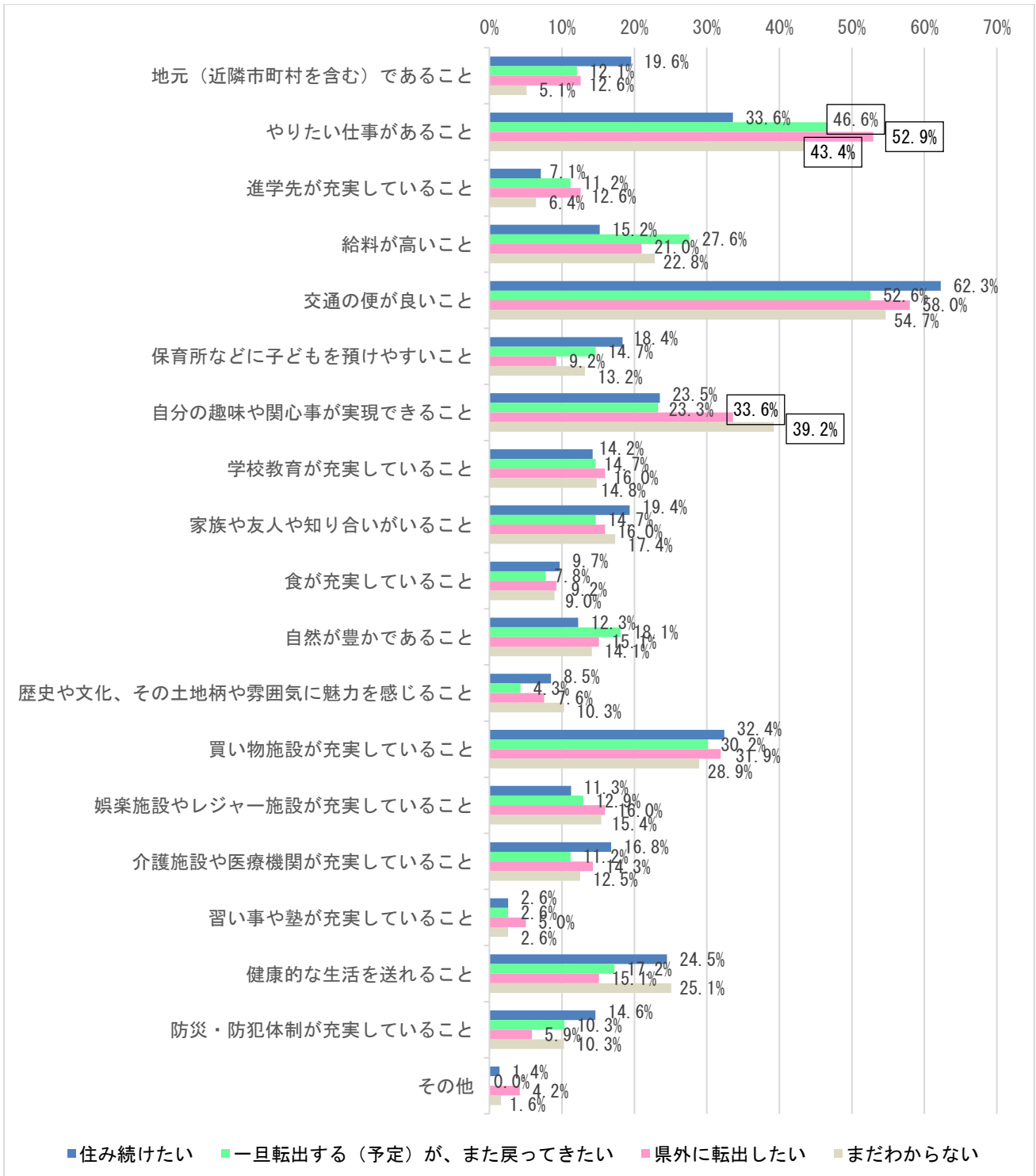
■性別	全体		女性		男性		答えない	
	回答者数(人)		回答者数(人)		回答者数(人)		回答者数(人)	
住み続けたい	1052	48.1	484	48.6	538	49.3	30	20.0
一旦転出する(予定)が、また戻ってきたい	116	11.0	48	9.9	64	11.9	4	13.3
県外に転出したい	119	11.3	63	13.0	46	8.6	10	33.3
まだわからない	311	29.6	138	28.5	163	30.3	10	33.3

■年齢別	全体		15～19歳		20～24歳		25～29歳		30歳～	
	回答者数(人)									
回答者数(人)	1052		321		327		175		229	
住み続けたい	506	48.1	99	30.8	146	44.6	109	62.3	152	66.4
一旦転出する(予定)が、また戻ってきたい	116	11.0	61	19.0	39	11.9	8	4.6	8	3.5
県外に転出したい	119	11.3	49	15.3	49	15.0	8	4.6	13	5.7
まだわからない	311	29.6	112	34.9	93	28.4	50	28.6	56	24.5

■職業等別	全体		学生(高校生・専門学校生・大学生等)		社会人(会社員・自営業・アルバイト等)ほか	
	回答者数(人)					
回答者数(人)	1052		560		492	
住み続けたい	506	48.1	194	34.6	312	63.4
一旦転出する(予定)が、また戻ってきたい	116	11.0	93	16.6	23	4.7
県外に転出したい	119	11.3	95	17.0	24	4.9
まだわからない	311	29.6	178	31.8	133	27.0

■居住地別	全体		仙台市		大河原圏域		仙台圏域 (仙台市を除く)		大崎・栗原圏域		石巻・登米圏域		気仙沼圏域		宮城県外	
	回答者数(人)															
回答者数(人)	1052		534		63		154		83		90		99		29	
住み続けたい	506	48.1	271	50.7	35	55.6	83	53.9	45	54.2	28	31.1	35	35.4	9	31.0
一旦転出する(予定)が、また戻ってきたい	116	11.0	47	8.8	8	12.7	15	9.7	10	12.0	16	17.8	16	16.2	4	13.8
県外に転出したい	119	11.3	64	12.0	3	4.8	17	11.0	7	8.4	13	14.4	12	12.1	3	10.3
まだわからない	311	29.6	152	28.5	17	27.0	39	25.3	21	25.3	33	36.7	36	36.4	13	44.8

【10年後も宮城県で暮らし続けたい(戻って暮らしたい)と思うか×将来住む地域選択の際優先するもの】



◇ 「やりたい仕事があること」について、「住み続けたい」の回答者が33.6%であるのに対し、「一旦転出する(予定)が、また戻ってきたい」の回答者は46.6%、「県外に転出したい」の回答者は52.9%、「まだわからない」の回答者は43.4%と高くなっている。

◇ 「自分の趣味や関心事が実現できること」について、「住み続けたい」の回答者が23.5%であるのに対し、「県外に転出したい」の回答者は33.6%、「まだわからない」の回答者は39.2%と高くなっている。

6 宮城県外で暮らすことを選ぶ理由があれば簡潔に記載ください（前問で「県外に転出したい」と回答した場合。）。

全体

- ・ 大学は宮城にあるが、地元は宮城でないため。(女・15～19歳)
- ・ 地元ではなく、まだ居住歴が浅いから。(女・15～19歳)
- ・ 地元に戻るため。(女・15～19歳)
- ・ 地元が好きなので地元で就職したいと考えています。(女・15～19歳)
- ・ 地元ではないから。(女・15～19歳)
- ・ 地元ではないから。(男・20～24歳)
- ・ 地元である山形県の方が慣れ親しんでいる分、働きやすいかと思ったからです。(女・20～24歳)
- ・ 地元に着があり、地元に戻りたいと考えているから。(男・20～24歳)
- ・ 地元に戻って、かつ実家で住みたいと思っけてい続てきたので。仙台は良い都市だと感じています。(男・20～24歳)
- ・ 地元に戻らなければいけないため。(女・20～24歳)
- ・ 出身地の方に愛着があるため。(女・20～24歳)
- ・ 地元に近い方が良いから。(女・20～24歳)
- ・ 他県出身で、地元に戻りたいという考えを持っているから。(女・20～24歳)
- ・ 地元が神奈川なので、できれば神奈川で住み続けられればと思っているので。(男・20～24歳)
- ・ 地元が県外だから。(男・20～24歳)
- ・ 地元である青森県と宮城県を様々な観点から比較衡量してみた結果。(男・20～24歳)
- ・ 宮城県出身ではないため。(女・20～24歳)

柱1 富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進

- ・ 県外に進学し、そのまま就職をしようと考えているから。(男・15～19歳)
- ・ 就職したい県が宮城じゃない(答えない・15～19歳)
- ・ 自分のやりたい仕事が発実して行えたりするから。(女・15～19歳)
- ・ 東京の方がやりたいことの技術が高い。(女・15～19歳)
- ・ 首都圏で仕事したい。(女・15～19歳)
- ・ 海外のことに携わる仕事がしたいから、より海外の人達や文化を生活に取り入れている都市部に移り、ゆくゆくは海外で生活したいと思っているから。(答えない・15～19歳)
- ・ 県外で就職したい。(男・15～19歳)
- ・ IT系の仕事に就きたいと考えた時に関東圏の方が選択肢が多いから。(男・15～19歳)
- ・ 自分は宮城に住んでまだ1年だが、東京や私の地元の新潟より好んで過ごす理由が分からない。バイト代低いし。(男・15～19歳)
- ・ 就職のため。(女・20～24歳)
- ・ 地元福島県で就職したいから。(男・20～24歳)
- ・ 宮城県外で就職することが決まっており、そちらでの生活を優先させたい。一定の給与水準を担保しつつ働きたい職種があることが少なく、すぐに戻ってこようという感覚にはならない。(男・20～24歳)
- ・ 仕事に関して、宮城より充実した場所で暮らしたいから。(女・20～24歳)
- ・ 出身地での就職を希望するため。(男・20～24歳)
- ・ 地元が静岡だから、遠すぎるため。就職先の希望が東京であるため。(女・20～24歳)

- ・ 地元で働いていたいから。(女・20～24歳)
- ・ 働きたい就職先が県外だから。(女・20～24歳)
- ・ 実家に近いから。やりたい職につけないから。(男・20～24歳)
- ・ やりたい仕事がある。(男・20～24歳)
- ・ 全国区で働きたいため。(男・20～24歳)
- ・ 寒い。東京の方が視野が広がる。宮城は希望するような仕事がない。(女・20～24歳)
- ・ 他県の方が仕事に挑戦しやすい。(女・20～24歳)
- ・ 就職先が県外。(答えなし・20～24歳)
- ・ 希望する職が仙台(都市圏)に無く、給料が安過ぎる為。(男・20～24歳)
- ・ 大学に残って研究を行いたいから。(男・20～24歳)
- ・ 子どもを育てる環境としては良いが、魅力的な企業が少なく、給料が低いのが欠点。宮城県から都内に新幹線通勤できる環境(通勤に係る費用等も含む)が整えば、将来も宮城に住みたいと考える。(男・25～29歳)
- ・ 収入が少ない。(女・25～29歳)
- ・ 老後であれば仙台あたりは暮らしやすいのかもしれないが、仕事という観点では、県内の事業所で募集している職種・業種は限られていて、県外に行かなければできない仕事がある。多くの友人はやはり就職を機に首都圏などにできることが多いと感じる。(答えなし・30歳～)
- ・ (1)自分がやりたい仕事を実現できない(首都圏と比べてあまりにも選択肢が少なすぎる)。
(2)交通の便が悪い。自動車社会であり、自家用車通勤だと事故リスクなどが高く、通勤時間も有効活用できない。公共交通が発達若しくは自動運転が普及すれば宮城に戻る選択肢が出てくる。(男・30歳～)

柱2 社会全体で支える宮城の子ども・子育て

- ・ 進学先を東京にするから。(女・15～19歳)
- ・ 島で暮らすと子育ての支援が充実していると聞いたので。(男・20～24歳)

柱3 誰もが安心していきいきと暮らせる地域づくり

- ・ 福祉環境を重視するのでスウェーデンに逃げます。(男・15～19歳)
- ・ 生活が不自由。(男・15～19歳)
- ・ 自分がやりたいことが宮城県ではできないから。(男・15～19歳)
- ・ 色んな世界を見てみたい。そもそも日本以外の国へ行こうと思っている。(女・15～19歳)
- ・ 他の県にも住んで色々知りたい。(女・15～19歳)
- ・ 自分がやりたいと思うことが県外の方が充実しているから。(女・15～19歳)
- ・ 自分のやりたいことがそこなら沢山出来るから。(女・15～19歳)
- ・ まだまだチャレンジしたいことがたくさんあるので。今の場所も大好きだけど、自分が成長できる地域はひとつじゃないと思っています。(女・30歳～)
- ・ 地元が東京なので交通などの便利さに慣れてしまったため、帰りたい。(女・15～19歳)
- ・ 仙台市内以外の交通の便が悪く、車がないと移動に困る。経済的に余裕のない家庭では不便極まりない。(男・15～19歳)
- ・ 仙台であれば考えるがそれ以外の場所となると交通の便や、買い物などを考えると転出したいと思う。(女・20～24歳)
- ・ 交通機関が充実していないか、交通機関の運賃が高額であるため不便を感じるから。(女・20～24歳)
- ・ その他の地域へのアクセスが悪い。(男・20～24歳)
- ・ 都会がいい。(女・15～19歳)

- ・ 都会に出ているんなものを見たい。(女・15～19歳)
- ・ 神奈川 関西 (女・15～19歳)
- ・ 都会 (女・15～19歳)
- ・ 宮城は田舎すぎる。(女・15～19歳)
- ・ 田舎だから。(女・20～24歳)
- ・ 東京(面白い人がたくさんいそう)に行きたい。(男・20～24歳)
- ・ 芸術作品は大都市でしか見られないので。(女・20～24歳)
- ・ 推してるアイドルが宮城県にこないから。(女・20～24歳)
- ・ 趣味の登山は特定の地域が望ましいと感じているから。(男・25～29歳)
- ・ 交通マナーが良くない。温かく無い人が多い。(女・20～24歳)
- ・ 仕事から離れてゆっくりしたい。(女・20～24歳)
- ・ 気仙沼にいてもやりたいことができないから。いいこともないし、地元は好きだけどいるメリットがない。楽しかった地元の祭りもお金ないからって今は図書館などの駐車場でやってて楽しくない。商店街でやるから楽しかったのに。なんかもう地元を期待するだけ無駄だなんて思ってる。(女・20～24歳)

柱4 強靱で自然と調和した県土づくり

- ・ 寒い。(男・20～24歳)
- ・ 雪が積もらない温暖な地域に住みたい。(女・30歳～)
- ・ 宮城県は自然が少ないから。また、坂が多く歩くのが大変。(女・15～19歳)

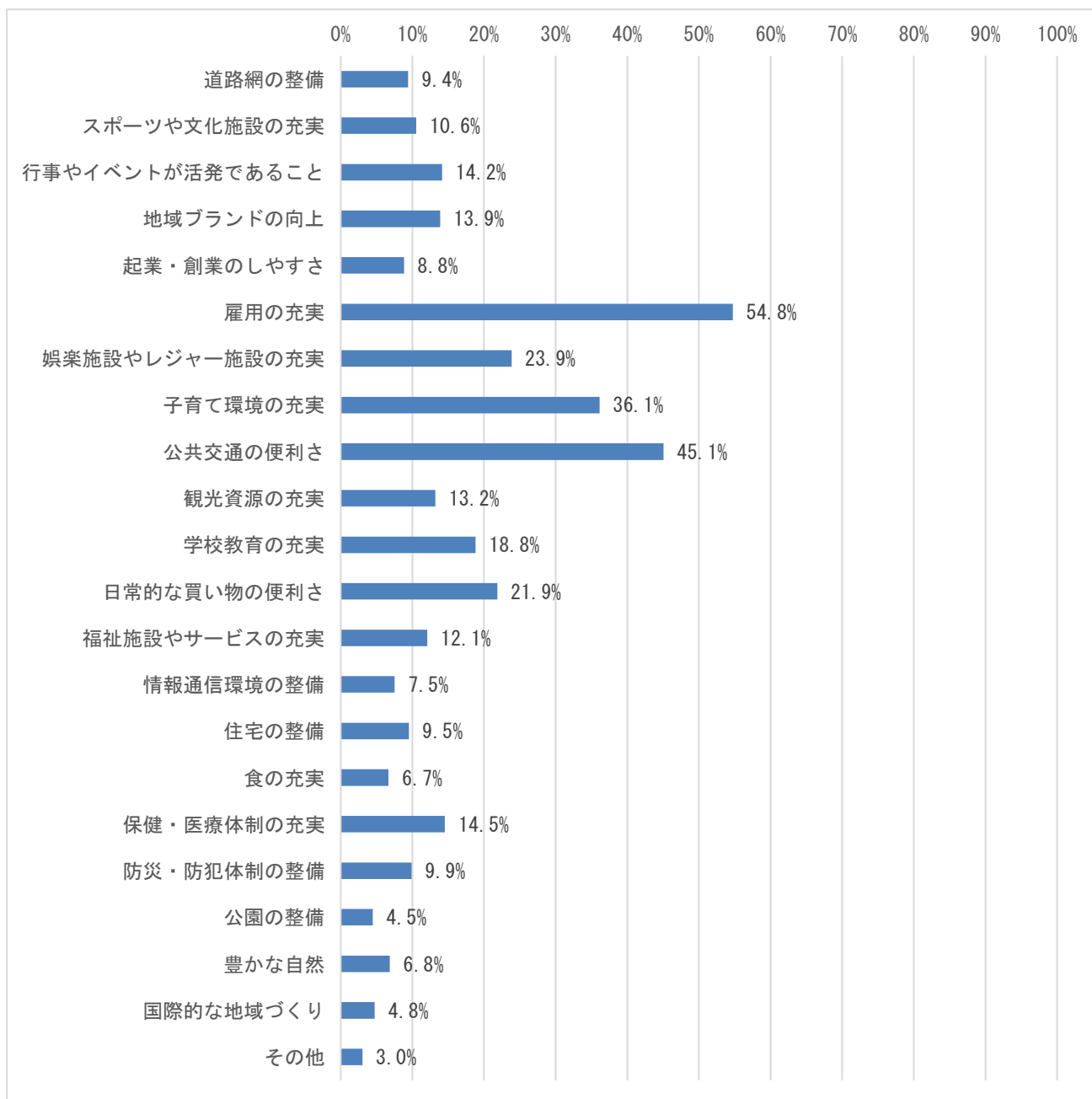
その他

- ・ 宮城県に住んでいいことが全くない。(男・15～19歳)
- ・ 特にないが、進学したい学校が宮城県外でそのまま帰って来ないと思うから。地元を魅力を感じない。(女・15～19歳)
- ・ 飽きた新鮮さがほしい。(答えなし・15～19歳)
- ・ 住みたい場所があるから。(女・15～19歳)
- ・ 宮城県内の政治や公共機関に計画性があるとは到底思えず、未来の展望が望めない。正直に言わせてもらおうと、宮城県というものにいればいるほど価値を失っていくものだと思う。まず、県外の人が何も考えずに宮城県庁をやっているという所からも正直なところ発展や良くしようという考えは浮かんでこないと思われる。無駄が多すぎて、未来がない。(男・15～19歳)
- ・ 正直なところ、こんなというものは今の現状からは何も言えない。良くしようという気がサラサラないのに想いを求められても困る。(男・15～19歳)
- ・ 婚約者が他県にいるため。(女・20～24歳)
- ・ 宮城県に魅力が無いから。(男・25～29歳)
- ・ 不満が多いので敢えてここで暮らす必要性を感じない (女・25～29歳)
- ・ 子どもの進学先 (例えば小学校などで私立に通う場合、子どもが徒歩で通える圏内に住んでいる必要がある)、国内外へのアクセス、空港の設備、遊ぶ場所の選択肢や最新技術等を体験できる施設の有無。(男・25～29歳)
- ・ 住みたい県があるため。(女・25～29歳)
- ・ 子供が県外に住んでいるから。(男・30歳～)
- ・ 飽きたから。(女・30歳～)
- ・ 岩手県民との結婚予定があるため、一関市あたりに住んで宮城県内に通勤することを考えているので、あまり県単位での認識をしていない。一関市図書館は宮城県民にも本を貸してくれるが、そういう広域での相互サポートがあるとい

いと思う。(答えない・30歳～)

- ・ 優秀な公務員のいる県に住みたい。公共サービスの充実した秋田県がいい。秋田県には優秀で親切な公務員がたくさんいる。(答えない・30歳～)
- ・ 税金を増やす政策ばかりしている。県民を無視しているので東京に住んだ方がよいと考える。(男・30歳～)
- ・ 家業として、家族経営の小さな小さな宿を営んでいます。経営者と2人でやっています。最近の宿泊税に対して、大きな不満があります。大企業と違い、たった二人で宿を営んでいるものとの経済格差や、雇用形態の格差、考えたことはありますか？どちらかが亡くなるまでしか経営できない、そんな旅館やペンションが、宮城県にどれくらいあるか、把握されていますか？第一、「観光財源が底を尽きる、PRしなければ」という宿泊税に関する知事や県の姿勢には、甚だ疑問を感じます。PRしたからと言って、宮城県にそれほどまでの魅力は、そもそもありますか？？京都や大阪、東京などは1日では飽きたらないほどの様々な観光施設や資源に恵まれています。しかし、宮城県はどうでしょうか？有名なのは、仙台・松島だけ。一度、皆様で関西方面への旅行などをされてみては、いかがでしょうか。その差に、愕然とすと思います。公共交通機関がほとんどないため、車を運転できない方は、そもそも県北にすら来れない。県北に住む私にとって、魅力の全くないこの地域に住んでいるため、宮城県からは完全に見放された存在だと思っています。(女・30歳～)

7 これからも多くの若者に宮城県で住み続けてもらうためには、どのようなことが必要であると思いますか。優先するものを3つ程度選んでください。



「その他」の主な内容

- ▶食の充実（安全な食べ物が確保できること）。学校施設の再編が進む中、集落・ネットワーク内で子供を育てていくこと。同じビジョンを持った同年代の仲間がいること。（男・25～29歳）
- ▶時給・月収等の収入UP、地下鉄やバスの運賃値下げなどの、低所得層の若者も暮らしやすい街づくり。（女・20～24歳）
- ▶経済的余裕の無い学生やフリーターなどへの経済的支援。（女・30歳代）
- ▶給与水準向上と学校費用、公共交通の無償化などによる可処分所得の増加。（男・30歳代）

- ◇ 全体で見ると「雇用の充実」が 54.8%、「公共交通の便利さ」が 45.1%、「子育て環境の充実」が 36.1%と高くなっている。
- ◇ 年齢別にみると、「20歳～24歳」以上の層では「雇用の充実」を、「25歳～29歳」以上の層では「子育て環境」を重要視している割合が高い。また、「15歳～19歳」は他の年齢層と比べ、「娯楽施設やレジャー施設の充実」を重要視している。「公共交通の便利さ」は全年齢層で共通して高い割合となっている。
- ◇ 職業等別にみると、「学生」は「娯楽施設やレジャー施設の充実」「公共交通の便利さ」，「社会人ほか」は「雇用の充実」「子育て環境の充実」の割合が高い。
- ◇ 居住地別にみると、「石巻・登米圏域」と「大河原圏域」を除く地域で「雇用の充実」を重要視する割合が高い。また、県外居住者は県内居住者に比べ、「雇用の充実」「起業・創業のしやすさ」「観光資源の充実」を期待している。

■性別	全体		女性		男性		答えない	
	回答者数(人)							
道路網の整備	99	9.4	41	8.5	50	9.3	8	26.7
スポーツや文化施設の充実	111	10.6	47	9.7	62	11.5	2	6.7
行事やイベントが活発であること	149	14.2	72	14.9	73	13.6	4	13.3
地域ブランドの向上	146	13.9	64	13.2	80	14.9	2	6.7
起業・創業のしやすさ	93	8.8	28	5.8	60	11.2	5	16.7
雇用の充実	576	54.8	254	52.5	304	56.5	18	60.0
娯楽施設やレジャー施設の充実	251	23.9	127	26.2	114	21.2	10	33.3
子育て環境の充実	380	36.1	180	37.2	185	34.4	15	50.0
公共交通の便利さ	474	45.1	241	49.8	218	40.5	15	50.0
観光資源の充実	139	13.2	72	14.9	63	11.7	4	13.3
学校教育の充実	198	18.8	78	16.1	114	21.2	6	20.0
日常的な買い物の便利さ	230	21.9	119	24.6	100	18.6	11	36.7
福祉施設やサービスの充実	127	12.1	65	13.4	56	10.4	6	20.0
情報通信環境の整備	79	7.5	33	6.8	40	7.4	6	20.0
住宅の整備	100	9.5	38	7.9	55	10.2	7	23.3
食の充実	70	6.7	27	5.6	35	6.5	8	26.7
保健・医療体制の充実	153	14.5	80	16.5	68	12.6	5	16.7
防災・防犯体制の整備	104	9.9	55	11.4	44	8.2	5	16.7
公園の整備	47	4.5	16	3.3	27	5.0	4	13.3
豊かな自然	72	6.8	33	6.8	35	6.5	4	13.3
国際的な地域づくり	50	4.8	20	4.1	24	4.5	6	20.0
その他	32	3.0	12	2.5	17	3.2	3	10.0

■年齢別	全体		15～19歳		20～24歳		25～29歳		30歳～	
	回答者数(人)									
道路網の整備	99	9.4	39	12.1	28	8.6	19	10.9	13	5.7
スポーツや文化施設の充実	111	10.6	50	15.6	30	9.2	15	8.6	16	7.0
行事やイベントが活発であること	149	14.2	52	16.2	50	15.3	25	14.3	22	9.6
地域ブランドの向上	146	13.9	40	12.5	49	15.0	25	14.3	32	14.0
起業・創業のしやすさ	93	8.8	26	8.1	25	7.6	14	8.0	28	12.2
雇用の充実	576	54.8	125	38.9	198	60.6	103	58.9	150	65.5
娯楽施設やレジャー施設の充実	251	23.9	118	36.8	71	21.7	36	20.6	26	11.4
子育て環境の充実	380	36.1	83	25.9	111	33.9	72	41.1	114	49.8
公共交通の便利さ	474	45.1	145	45.2	160	48.9	86	49.1	83	36.2
観光資源の充実	139	13.2	56	17.4	48	14.7	21	12.0	14	6.1
学校教育の充実	198	18.8	52	16.2	51	15.6	35	20.0	60	26.2
日常的な買い物の便利さ	230	21.9	75	23.4	63	19.3	47	26.9	45	19.7
福祉施設やサービスの充実	127	12.1	37	11.5	40	12.2	25	14.3	25	10.9
情報通信環境の整備	79	7.5	22	6.9	24	7.3	13	7.4	20	8.7
住宅の整備	100	9.5	34	10.6	26	8.0	18	10.3	22	9.6
食の充実	70	6.7	25	7.8	21	6.4	14	8.0	10	4.4
保健・医療体制の充実	153	14.5	41	12.8	39	11.9	30	17.1	43	18.8
防災・防犯体制の整備	104	9.9	29	9.0	31	9.5	22	12.6	22	9.6
公園の整備	47	4.5	15	4.7	9	2.8	11	6.3	12	5.2
豊かな自然	72	6.8	33	10.3	17	5.2	12	6.9	10	4.4
国際的な地域づくり	50	4.8	13	4.0	18	5.5	6	3.4	13	5.7
その他	32	3.0	5	1.6	5	1.5	7	4.0	15	6.6

■職業等別	全体		学生(高校生・専門 学校生・大学生等)		社会人(会社員・ 自営業・アルバイト等)ほか	
	回答者数(人)					
道路網の整備	99	9.4	60	10.7	39	7.9
スポーツや文化施設の充実	111	10.6	65	11.6	46	9.3
行事やイベントが活発であること	149	14.2	81	14.5	68	13.8
地域ブランドの向上	146	13.9	73	13.0	73	14.8
起業・創業のしやすさ	93	8.8	41	7.3	52	10.6
雇用の充実	576	54.8	275	49.1	301	61.2
娯楽施設やレジャー施設の充実	251	23.9	158	28.2	93	18.9
子育て環境の充実	380	36.1	163	29.1	217	44.1
公共交通の便利さ	474	45.1	269	48.0	205	41.7
観光資源の充実	139	13.2	88	15.7	51	10.4
学校教育の充実	198	18.8	86	15.4	112	22.8
日常的な買い物の便利さ	230	21.9	118	21.1	112	22.8
福祉施設やサービスの充実	127	12.1	70	12.5	57	11.6
情報通信環境の整備	79	7.5	39	7.0	40	8.1
住宅の整備	100	9.5	53	9.5	47	9.6
食の充実	70	6.7	37	6.6	33	6.7
保健・医療体制の充実	153	14.5	70	12.5	83	16.9
防災・防犯体制の整備	104	9.9	55	9.8	49	10.0
公園の整備	47	4.5	20	3.6	27	5.5
豊かな自然	72	6.8	44	7.9	28	5.7
国際的な地域づくり	50	4.8	28	5.0	22	4.5
その他	32	3.0	8	1.4	24	4.9

■居住地別	全体		仙台市		大河原 圏域		仙台圏域 (仙台市を除く)		大崎・ 栗原圏域		石巻・ 登米圏域		気仙沼 圏域		宮城県外	
	回答者数(人)															
道路網の整備	99	9.4	39	7.3	5	7.9	18	11.7	5	6.0	14	15.6	14	14.1	4	13.8
スポーツや文化施設の充 実	111	10.6	54	10.1	9	14.3	17	11.0	6	7.2	12	13.3	11	11.1	2	6.9
行事やイベントが活発であ ること	149	14.2	71	13.3	7	11.1	25	16.2	10	12.0	19	21.1	14	14.1	3	10.3
地域ブランドの向上	146	13.9	91	17.0	4	6.3	27	17.5	7	8.4	5	5.6	10	10.1	2	6.9
起業・創業のしやすさ	93	8.8	41	7.7	5	7.9	23	14.9	6	7.2	5	5.6	7	7.1	6	20.7
雇用の充実	576	54.8	322	60.3	24	38.1	82	53.2	40	48.2	32	35.6	55	55.6	21	72.4
娯楽施設やレジャー施設の 充実	251	23.9	113	21.2	17	27.0	38	24.7	21	25.3	28	31.1	33	33.3	1	3.4
子育て環境の充実	380	36.1	191	35.8	23	36.5	63	40.9	30	36.1	27	30.0	36	36.4	10	34.5
公共交通の便利さ	474	45.1	234	43.8	31	49.2	87	56.5	33	39.8	41	45.6	35	35.4	13	44.8
観光資源の充実	139	13.2	78	14.6	8	12.7	21	13.6	11	13.3	5	5.6	9	9.1	7	24.1
学校教育の充実	198	18.8	111	20.8	10	15.9	32	20.8	11	13.3	11	12.2	18	18.2	5	17.2
日常的な買い物の便利さ	230	21.9	103	19.3	19	30.2	33	21.4	19	22.9	25	27.8	22	22.2	9	31.0
福祉施設やサービスの充 実	127	12.1	59	11.0	11	17.5	23	14.9	7	8.4	12	13.3	8	8.1	7	24.1
情報通信環境の整備	79	7.5	29	5.4	6	9.5	13	8.4	8	9.6	15	16.7	5	5.1	3	10.3
住宅の整備	100	9.5	47	8.8	8	12.7	11	7.1	10	12.0	14	15.6	8	8.1	2	6.9
食の充実	70	6.7	30	5.6	8	12.7	12	7.8	4	4.8	7	7.8	6	6.1	3	10.3
保健・医療体制の充実	153	14.5	73	13.7	10	15.9	25	16.2	13	15.7	16	17.8	13	13.1	3	10.3
防災・防犯体制の整備	104	9.9	59	11.0	7	11.1	22	14.3	9	10.8	5	5.6	2	2.0	0	0.0
公園の整備	47	4.5	22	4.1	1	1.6	11	7.1	4	4.8	5	5.6	4	4.0	0	0.0
豊かな自然	72	6.8	33	6.2	7	11.1	11	7.1	8	9.6	10	11.1	2	2.0	1	3.4
国際的な地域づくり	50	4.8	17	3.2	3	4.8	17	11.0	4	4.8	4	4.4	5	5.1	0	0.0
その他	32	3.0	10	1.9	2	3.2	4	2.6	4	4.8	4	4.4	7	7.1	1	3.4

8 こんな宮城県であってほしいという想いがあれば自由に記載ください。

全体

- ・ 宮城県全体のことに関する問題について県民の意見を聞き、反映し、議会で慎重に議論する県。いじめが少ない県。行事で賑わう県。住民も、旅行できた人も、楽しく安全に過ごすことのできる県。(女・15～19歳)
- ・ 官民が協調して県民の利益を最大に考える宮城県であって欲しいと思います。そのための手段が目的化することは、意識して防ぐ必要があると思います。(男・20～24歳)
- ・ 震災復興の補助金に頼るだけではない県。(男・20～24歳)
- ・ 平和であってほしい。(男・20～24歳)
- ・ 県民が誇れるような県。(男・20～24歳)
- ・ 「よくわかる県」がいいなと思う。地域と地域、地域と学校、学校と役所、地域と役所などがお互いの情報を密に共有し、よく知っている状態にあるのが良いと思った。すれ違いや意思疎通ができていないことがないような県になってほしいと思った。(男・20～24歳)
- ・ 仙台市や中核都市になりうる地方自治体と協力して、画一的な県政ではなく将来を見据えた選択と集中の県政を行ってほしい。(男・25～29歳)
- ・ 自慢の出身地であること。(男・30歳～)
- ・ 金や施設のことばかり言及しても、これからの幸せをつなぐことはできるのでしょうか。人口減少社会を迎える中で、人口増加や維持を望むことは全県としては無理なことなので、将来に夢や望みをつなぐことができるように、持続可能な取組みに意を配しながら、いかに心の豊かさを実現できるかを県民みんなが意識できるような計画であれば、個々人が幸せを実感し、ひいては住民の福祉の増進につながるのではないのでしょうか。(男・30歳～)
- ・ 震災による企業間・人々の行政による不平等。補助金の無駄遣い。華やかな施設等は要らないと思います。豊かな暮らしもいりませんが豊かな気持ちは必要です。よく世間を見渡しなるべく平等に暮らせるようになれば良いです。(男・30歳～)
- ・ 人が集まる地域であれば安定して子供や孫の世代に引き続き住んでもらえるかと思っています。その為にお年寄りの方でも医療、福祉のサポートが充実していることも必要かと思っています。その為に仕事がある事。その仕事をやり易くする為に子供達の医療、保育、育児、教育等のサポートが充実していること。その為に防犯等が守られ安心して安全な社会である事。食事や水等が安全な事。全て必要な事だと思いますが、公共サービスが低下して行くと言えられないのではないのでしょうか？特に外国人労働者に頼る事や、外資による公共サービスへの参入には反対です。自分達の生活は自分達で賄うように考えていかないと、長期で考えていくときにトラブルが続出するかと思っています。海外でも外国人労働者に頼った国や、水道等を外資や民間に委託した国々がどのように困った状態になっているのか慎重に調べてもらいたいです。外国人の旅行者の受け入れは宮城では問題無いかと思いますので、増えてもらった方が良いかと思っています。公共投資やインフラ設備は重要だと思いますが、美術館は新しくしなくても良いのでは？まだ耐用年月が残っていますし、特に現状で問題は無いのではないのでしょうか？それよりも水道設備や道路や橋等の老朽化への対応をしっかりとってもらいたいのと、医療体制の強化を行ってしてもらいたいです。特に郡部での入院体制の確保についてしっかりとってもらいたいです。産科で分娩が出来ないと郡部から若い人はどんどん減っていくかと思っています。予算等に問題はありますか？美術館を新しくするより、もっと身近な将来に続くような事に使ってもらいたいと思います。美術館に予算を使うならば人を呼べる企画等でもっと人を集めると逆に美術館が黒字になって手狭だからと言う理由で単独で建て替えても問題が無くなるかと思っています。(最近だと岩手でのジブリ展とか)若い人も集まり馴染みのある施設ならば建て替えにも同意が得やすいのでは？それにしても今回は時期が早すぎると思います。それよりも医療体制は人口動態にも影響すると思いますし、一度悪化してしまうと改善させるのが難しいです。水道等の公共サービスも一度悪化してしまうと代わりの物がないので十分な検討をお願いしたいです。外国人労働者も受け入れた後に問題があっても追いつくのも難しく

なる事が十分に考えられるので、制度変更は長期的視点でしっかりお願い致します。(男・30歳～)

- ・ 人口を増やそうとすると、お金持ちの人だけではなく、社会的弱者も増えると思う。宮城県が、富裕層や社会的強者等だけの人口を増やそうとする失敗すると思う。人口の増加させた結果として、(1)グループ(富裕層+社会的強者等)+(2)グループ(貧しい人+社会的弱者)の両方が増えざるえない。人口の多い都市や街は、両方が多い状況であるように思える。人口を減少している地域の住民は、(2)のグループが増えるくらいなら、人口が減少した方が良いと思っている。(これが本音)だから、人口は増えない。快く受け入れる地域住民がいるならば、引っ越したいと思うが、そうでないのであれば、永住することは避けたい。地域住民と行政も(1)グループの人口を増やしたいと思うが、それは(1)グループだけ増やすだけの政策にしないと難しい。ただ、(2)グループの子供たちが、(1)グループになる可能性が高いと思う。戦後の日本がそうだったように(一、一)VVだから(2)グループを増やす政策してみてもどうでしょうか。かなり、行政としては覚悟がいると思うけど。(男・30歳～)
- ・ 笑顔であふれる県にしてほしい。(男・15～19歳)
- ・ 毎日充実している。(男・15～19歳)
- ・ 私達が誇れる宮城であってほしい。(女・15～19歳)
- ・ 建物が立派すぎる。(答えなし・15～19歳)
- ・ いろんな意味であたたかい宮城県！(女・15～19歳)
- ・ 余所者に優しい宮城県。(男・15～19歳)
- ・ 東北最大の人口を誇る宮城だからこそ東北の最先端に行く県であり続けてほしいと思います。(男・20～24歳)
- ・ いつまでも杜の都としてのブランドがあり、自然豊かで東北の代表県であってほしい。(男・20～24歳)
- ・ 東北を牽引する存在として、今後も他県の見本となるような素晴らしい県であってください。(女・25～29歳)
- ・ 東北地方の中心として、経済的に発展して欲しい。そのためには公共投資によるインフラ整備や、大学等の高等教育の充実が必要であると思います。自治体では財源に制約がありますが、MMT(現代貨幣理論)を巡る議論で明らかになったように、政府には財源の制約はないのですから、地方へのインフラ投資を活性化するように、国会議員などと連携して訴えていく必要があると思います。また、これはどれほど現実的かはわかりませんが、政府による投資が期待できない場合、現代貨幣理論を参考に、県独自通貨を発行する可能性も検討していいと思います。(男・25～29歳)
- ・ 引き続き、東北の中心として発展を続け、人口が減っても活力がある宮城県を目指してほしい。また、現在住んでいる白石市も思い切ったことをしてでも、かつて「仙南の商都」と言われていたころの活気ある地域になってほしいという思いがある。その他の地域も宮城県全体での均衡ある発展を目指せるようになってほしい。(男・30歳～)
- ・ 投資型都市、稼げる都道府県の先進県となってほしい。特に東北のトップとして社会福祉、医療よりも電腦化、情報戦略に特化させる。(社会福祉や医療は現状で十分で、他の東北5県でもやれる)しかし時代の牽引役は宮城(仙台)にしか成り立たないため。震災復興で証明済み。(男・30歳～)
- ・ 東北の中心地でありつつも、全国から注目を受けるような都であってほしい。(男・15～19歳)
- ・ モノやサービスがどんどん最新化していく中でも地域ならではの特色や文化を失わない県であってほしい。(男・15～19歳)
- ・ 都会感出した方がいいよ！(女・15～19歳)
- ・ 宮城に住んでいる人も、その他の都道府県の人も口を揃えて言うことは「宮城県には魅力がない」。牛タンやずんだ餅など、食べ物に関しては悪いことは何ひとつもないが、『宮城県に行ってみたいか』という質問に対して、「別に」「進んで行こうとは思わない」と回答している人が多い。ただ一言いうと、観光として訪れたい場所がない、娯楽施設が少ない、まず何があるのかよくわからない。よく学生が遊びに行くところとして多く選ばれるのが「仙台駅周辺」だが、はっきり言って「ここじゃなきゃ出来ないものがある！！」というわけではない。チーズハットグやタピオカなど、流行を1番に取り入れるのはここだと思うが、結局は他の場所でも食べられるので別にそれを目当てに行く場所ではない。仙台に行っても結局は友達とカラオケ、ゲーセン…とこれもどこでも出来るようなことしかしない。ベニーランドや動物園、ショッピングモール等があるため「そこが娯楽施設でも良いではないか」とも思われるかもしれないが、宮城が求めるものとして1番なのは「地元の人だけでなく、県外からもそれを目当てとして訪れられるような場所」ではない

かと感じる。敷地や資金としても難しいとはわかっているけど……！！あとは1番思うのは保育士の賃金を上げてほしいです。保育士を辞める理由として1番多いのは「低賃金」「職に対する賃金が比例しない」です。ただこれは保育士に限らずそう思います。将来保育関係に職に就きたいと考えていますが、このままだと他県に移って保育の仕事に就こうかなとも考えています。すぐ解決出来るような課題ではないのはきちんと理解しているけれど、そこもなるべく解決に向かってくれればなと思います。ここまで長々と失礼致しました。偉そうな口を聞いてしまって申し訳ございません。

(女・15～19歳)

- ・ 住みやすい気候をアピールし、首都機能も併せ持つことで、「東京なんか行かなくてもいいじゃん」と思えるような県。表参道のようになることは求めないが、宮城県に暮らし、宮城県で生活したいと思えるような社会的又は経済的な魅力が必要。たとえば自然に囲まれたオフィスや、移住者への税の減免などのインセンティブを駆使し、紹介制度による移住促進も。(男・20～24歳)
- ・ 宮城は他の自治体に比べ住み心地が良いとは聞きます。でも住むのに決定的な要因が無いと思います。仕事、子育て、利便性。決定打が欲しいです。(男・20～24歳)
- ・ それぞれの地域に住んでいる人が「この地域であつたらこれ」と誇れるものが一つ以上あること。(女・20～24歳)
- ・ 少子高齢化が進展する中で地域間競争はますます激化したと思いますが、いい意味の宮城県らしさを深め発信して欲しいです。(男・20～24歳)
- ・ 生まれが宮城ではないため詳しいことは言えないが、県外から来た身としては、これだけは他県に負けないことだったり、宮城ならではの自慢などあればいいのかなと思った。また、私は将来教育関係の道に進みたいと考えているが、やはり地元に戻りたいと今のところ考えているため、宮城に残ってやりたいと思うような教育施設の充実など将来を担う子どもたちにとって必要な策があればいいなと思った。(女・20～24歳)
- ・ 宮城に限らず、日本全体に言えることであるが、数ある地域の中でここに住みたいと思う決め手が足りないと感じる。私は宮城が地元であるため、宮城に住みたい、残りたいという気持ちがあるが、他県に引っ越したと仮定して、引っ越し先に愛着を持てるかということ、地元以上のものは持てないように感じる。上記はあくまで私個人の感想ではあるものの、同じように感じている人は一定数いるのではないだろうか。逆に、宮城の外にいる人からみて、わざわざ宮城に行くメリット、インセンティブ、イメージがないのではないだろうか。私の中には、活気のある宮城であってほしいという思いがあるが、人口減少社会にあって、活気を維持し、高めていくためには、どうしても外からの流入(仙台市は東北の人口ダム機能があり、社会増はある程度なら期待できる)に頼るのではなく、交流人口を増やしていくことが必要となる。交流人口の例として観光客を考えた場合、わざわざ東北地方に足を伸ばし、何が体験できるのか、何が見られるのか、そもそものコンテンツ力の要因もあるかもしれないが、やはり「イメージできない」に尽きるのではないだろうか。例えば東京であれば、時代の最先端というイメージだったり、下町風情だったり。大阪であれば、食い倒れの街のイメージがあるように、その街のイメージが国民の中に形成されているものと思う。翻って、宮城にはどのようなイメージがあるかと聞かれると、伊達政宗公と思う。(しかし、これはイメージというより、「コンテンツ」であり、東京や大阪の「イメージ」とは別物。「イメージ」であれば、そのイメージに内包される様々なものがコンテンツとなりうる)。ただ、これだって、外国のお客様から見れば「地方の軍閥」であり、わざわざ足を運ぶものかと聞かれれば、非常に怪しい。(我々が中国の地方の英雄の話を読んでも分からない)とりとめがなくなってしまったが、日本・世界に対し、「イメージ」戦略で勝っていく必要があるのではないかと感じている。(男・20～24歳)
- ・ 博多(福岡県)のように地方ながらも、ブランド感のある宮城県になって欲しい。また、若い人が夢を持てるような県になって欲しい。魅力的なベンチャー、企業、安くて美味しい飲食店街、発達した便利な公共交通機関、子育てに特化(高水準の教育、自然も豊かで子ども達が主体的に学べる環境)が有ると良い。(男・25～29歳)
- ・ 「宮城といえばこれ！」という他の県にはない、負けない強みがあること。先進的な取組みや施策を行なっている注目の県であってほしい。東北に対する「田舎」というイメージを変える県。(女・25～29歳)
- ・ 誰に聞いても宮城と言えばこれ！というものがある県になってほしい。(男・30歳～)
- ・ みやぎで暮らす人たちがみんなみやぎ自慢ができ、外から来た人に対して魅力を誇らしげに紹介できる風土になってほしい。(男・30歳～)

- ・ 他の都道府県と比較して感じるのが、「宮城県と言えばこれ！」というのが、なかなか浮かばないということ。牛タンはある程度知名度が高いですが、それほど推しているという印象も受けない。野菜も「これ」というものがないし、観光についても同様。広く浅くの知名度のものが多いように感じるので、何かに特化したPRをしていかなければならないのでは、と感じている。米も大切ですが、米だけで潤っている県は少ないと思うので、何か他にも全国に通用する産品を出さないといけないのでは。(たとえば、山形であればサクランゴ、静岡ならお茶、愛媛ならみかん等) (女・30歳～)
- ・ 全体的に古臭い地方都市感が強くなっている気がします。事業者にしても、行政にしても、議会にしても、もっと新陳代謝が活発で、かつ、生活全般を通して選択肢が多い町になってほしいです。(男・30歳～)
- ・ 脱、仙台県。宮城らしさを皆がイメージできるブランディングして欲しいです。ああ、宮城っぽいよね、宮城がやりそう。そう全国の人に思ってもらいたい。「どんな若者」が来るかターゲティングが必要だと感じています。8000万人へ向かっていっています。誰でも来て欲しいは、みんな同じだし、若者来て欲しいはそりゃそうです。もはや人口減少は課題ではありません。30年後にどんな県でいたくて、その為には誰に来て欲しいのか、だから何をを用意するのか。を県として出して欲しいです。仙台っぽいではなく。宮城っぽい。仙台を押してたら、仙台にしか人は来ないですよ。宮城県の暮らしに関するイメージブランディングをして、県で集客して基礎自治体に割り振るのが妥当かと思います。それは、基礎自治体には出来ないの。頑張ってください。(女・30歳～)
- ・ 仙台市とその他地域との格差を減らし、他地域の人々にとって暮らしやすいまちづくりを行なってほしいです。(女・15～19歳)
- ・ 東京などと賃金格差や学力格差のない県。(男・15～19歳)
- ・ 人口減少している町村をもっと活性化してほしい。(女・15～19歳)
- ・ 田舎と都会の繋がりが強い(行き来しやすい、行かなくてもネットなどで頻繁に何かしらのやり取りが行われる等)県。(男・15～19歳)
- ・ 仙台がとその他の市町村の差が大きすぎる。どうにかしてその差が小さくなってほしいと思う。(男・15～19歳)
- ・ 宮城県中心だけでなく、仙南の市町村にも活気を取り戻せるように努力してほしい。また、地方の職員志望の人も是非仙台市職員とかに採用してより田舎の意見を聞ける人材を増やしてほしい。(男・15～19歳)
- ・ 宮城といえば仙台というイメージしかないの、それ以外の場所も目立つように頑張ってもらえればなあと思いました。(男・20～24歳)
- ・ 仙台市だけではなく、全ての地域の経済力及び国際競争力を向上させてほしい。仙台市以外の地域に、大卒向けの魅力的な雇用が少なく、地元に残りたくても出るしかなくなる。雇用だけではなく、教育面においても大きな格差があるので、どの地域に住んでいても能力が発揮されるような経済基盤の底上げを図って欲しい。(女・20～24歳)
- ・ 「宮城県といえば仙台市」という風潮が撤廃されるようになること。(男・25～29歳)
- ・ 仙台にしか人がいない、予算がないというような県にならなければいいと思います。(女・25～29歳)
- ・ 宮城県においては、政令指定都市である仙台市に依存している面が多くあり、他市町村との格差が大きくあるのが現状だと思います。その格差を無くすことは難しくとも少しでも小さくしていくことが重要であり、そのためには各市町村が自分たちの魅力を発信していくことはもちろんのこと、個人ではできないアクセスの発展等の支援を行政が担っていく必要があると感じます。魅力ある宮城県になってほしいと切に願います。(男・25～29歳)
- ・ 宮城県といえば仙台というイメージが県内外問わずあると感じることが多い。仙台もいいところではあるが、仙台以外の市町村の魅力を知ってもらい、宮城県全体として人を集める力をつけてほしい。(女・25～29歳)
- ・ 都心・大都市一極集中ではなく、自分が住みたい、住んでみたいと思った土地で、働いて暮らしていけるような環境(自然環境、インフラ整備)づくり、価値づくり(土地への愛着)がさらに進んでいくとよいと思います。(女・25～29歳)
- ・ 仙台市から離れるほど、給与水準が低い。特に、田舎に行くと社長はベンツ、従業員は軽自動車と揶揄されるような状態があからさまである。沿岸部の市町村は、漁業や海と生きるというものの、資源を守る取組み意識が非常に低い。例えば、漁礁をもっと作るなどして資源を守る取組みが必要と考える。岩手県は、その辺が優れているように感じる。(男・30歳～)

- ・ 仙台市だけでなく、それぞれの町が特色を持ち誇りに思えるような県であって欲しい。観光的な人気よりも住みやすさ、生活のしやすさを求めた都市があってもいいのではないかと思います。(男・30歳～)
- ・ 仙台市一強になってしまう土地柄は致し方ないと思うが、他の地域の魅力が低いと感じる。二番目、三番目に栄えている都市を他県の人に聞いても知らないのではないかと。仙台市以外の地域であっても色々魅力的な面はあると思うが、上手くアピールできてないように思える。仙台市以外の地域をクローズアップして、多様な魅力あふれる県にしたい。(男・30歳～)
- ・ 仙台一極集中でなく、さまざまな地域が自然環境と人に優しい県であって欲しい。(男・30歳～)
- ・ 地域格差がなくなればいいなと思います。(女・30歳～)
- ・ 仙台は東京のように混雑しておらず、住みやすいと思うが、駅周辺にすべてが集まってしまったので最近では一番町や中央通りを歩く楽しみが減ってしまった。地域に根差した店が少なくなったと感じる。アーケードが閑散とした仙台だけは見たくないの、あの商店街が廃れないようにしてほしい。県外の人に宮城県(仙台)のいいところは?と聞かれて、コンパクトなまちだけど、大体のものは買えるし、不自由もなければ人込みのストレスもなくて住みやすいまちだと答える。他にもっと羨ましがってもらえる返答をしたいけれど今のところ思いつかない。いい返事ができる県にしたい。(答えなし・30歳～)
- ・ 正直なところ、宮城県内では仙台市内の地下鉄沿線の地域しか衣食住する場所として魅力がない。他は仙台市内であっても、陸の孤島。東日本大震災で県内の他市から仙台市に転居した者として、仙台市と他市との違いをつくづく実感している。今後も仙台市内しか発展しないと思う。すべての市町村が発展すれば理想なのはわかるが、コンパクトシティ化に向けて予算を集中すべきと思う。今現在住んでいる人がいることなので切り捨てるのは難しいことと思うが、今後人が減っていくだけで増えることがない郡部に予算を割いても将来的に無駄になるだけだと思う。県のアンケートにこのような回答をして申し訳ないが、宮城県には仙台市しか魅力がある市はないと思う。子供の教育環境、優秀な高校や大学、交通の便など全てがそろっている。郡部にはそれがない。逆に言うと、震災前までに住んでいた市には不満しかなかった。閉鎖的な考えの地域住民などうんざりで、転居してよかったと思う。県においても移住を進めているようだが、身をもって閉鎖的な田舎の体質を経験しているので、郡部には絶対に住みたくない。年を取った時に運転できなくなることを考えると、年寄りこそ医療環境の充実した都市部に住むべきだと思う。(男・30歳～)
- ・ 仙台市と仲が良い宮城県であってほしいです。(男・30歳～)
- ・ 仙台市と地方が繋がると良い。(男・30歳～)
- ・ 今のままで十分だと思います。ただ、人口が少なくなれば現状維持も容易ではないのですが。(女・15～19歳)
- ・ 全ての人間の居心地が良いと思えるような場所。(男・15～19歳)
- ・ 私の大好きな宮城がずっと続いて欲しい。自然と文化の共存ができて今の宮城が私は好き。(女・15～19歳)
- ・ 宮城県というか国が税金の使い方を1から見直した方がいいと思います。保育料の無償化など高所得者を対象外にして低所得者だけを対象にしてその分浮いたお金を待機児童問題解消のために保育園の建設などに利用したら税金を払っている国民も払っているかがあると思います。桜を見る会とかなんで娯楽?に使われなきゃいけないのかわからないです。宮城県は平和で好きです。ずっと住みたいと思っています。(女・15～19歳)
- ・ 宮城県といたらこれ!と、どこの県の人にでも言ってもらえるようなものがあればいいと思います。でも、私は今の宮城県でもほとんど満足しているので、そこまでいろいろなことを気にしなないです。まあまあ田舎って感じのところが好きです。(女・15～19歳)
- ・ 今も昔もこれからも、緑豊かな自然と、ちょうどいいくらいのまちの発展具合、四季折々のイベントで季節を感じられ、人とのつながり、暖かさのある宮城県であればいいなと思っています。私は宮城が大好きで、活発な若者、それを支援したいという大人が多いなと思っています。そんな素敵なシステムをさらに行政単位で支援していけるような宮城になればいいなと思っています。(女・20～24歳)
- ・ 程よく都会で程よく田舎、生活しやすいような県であってほしい。(女・20～24歳)
- ・ 自然と都市の両立したちょうどよい都会。人があたたかいまち。人と人がつながるまち。おなかの中から大きくなるまで切れ目ない育児支援。(女・20～24歳)

- ・ 流行の最先端の文化を発信する県。自然豊かかつ、企業の多さなど都会的な面も併せ持つ県。(男・20～24歳)
- ・ 緑豊かで、都会感と田舎感を併せ持つ地域であってほしい。(男・20～24歳)
- ・ いつまでも、「ちょうどいい、宮城県。」であってほしいです。(女・25～29歳)
- ・ 都会すぎず、田舎すぎずちょうどいい環境になると良いと思う。(男・30歳～)
- ・ 生まれも育ちも宮城で、妊娠・出産を経て、この先も特別なことが無ければ家族で宮城に住み続けたいと思っています。私が地元にあふれて愛着があつて離れがたく、富山県出身の夫に宮城で仕事を決めてもらったくらい（それは極端な話ですが）自分の子どもにも宮城が好きだと思ってもらえるような県であつて欲しいと思います。(女・30歳～)
- ・ 全世代が尊重し合い、楽しく暮らせる県であつてほしい。(男・20～24歳)
- ・ 自然の豊かさと、生活の利便性を両立する県であつてほしい。仙台市だけではなく、県の全体がそうあつてほしい。(女・25～29歳)
- ・ 宮城県は、県北・石巻・仙台・仙南に分かれており、あまりつながりが持てていないと思います。各市町村の持ち味を発揮しつつ、宮城県内の市町村がシェアすべき技術（例えば米作り、炭づくり、近年急増するイノシシ対策（ジビエ振興につなげる）、再エネに関連するデバイス製造など）は、しっかりと各市町村に指導し、宮城県としての強みを発信すべきであると考えます。私は現在、川崎町でチームを作り、食とエネルギーを自給できるようなゲストハウスの建設を行っています。そのため、農林業や狩猟、地域の技術の継承などに取り組んでいます。（森林づくりの限定的な視点となりすみません。）近年、自伐林業というキーワードが流行っていますが、宮城県内には行き届いていません。しかし、個人では林業や森林づくりを行っている人はたくさんいます。そこで、トレンドになっているキーワードを活用しながら、人を集め、意識と技術の普及を行い、宮城県内の多くの方が、ビジョンを共有できる仕組みが必要だと思えます。これは、どの分野においても同じことがいえると考えます。各地域オリジナルの持ち味を発揮しつつも、各地域が同じ方向を共有し、持続的な取り組みを進められるような宮城県になるとよいと思います。私たちも、尽力できる部分があればどんどん協力させていただきたいと思えます。後付けにはなりますが、若い層が宮城県内の技術を学ぶために投資できるような仕組みがあると、県内市町村の関係人口の広がりにもつながると思います。今後の生活とか老後のために、若いころから働いてお金をためるという考えがとてもしっかりないなと思えます。。長文にはなりませんが、最近感じることを記載させていただきました。今後とも、各機関がお互いの強みを生かしながら、連携できればよいなと思います。(男・25～29歳)
- ・ 都市と自然のバランスがよいところに魅力を感じる。外国人も含めてすべての人が暮らしやすい、疎外されない地域であつてほしい。自動車以外の交通網の整備、国際化に向けた人材育成が必要と思っています。(女・30歳～)
- ・ 行政が地域住民の声をきちんと聞き、公共施設などの整備を出来るだけ進めてくれる。(女・20～24歳)
- ・ 行政は民主的で透明性が高くあつてほしい。高齢者や障害者、低所得者の暮らしに目を配ってほしい。支援実施にあたってはきちんと予算を付け、労働者に負担を負わせる民間企業は排除してほしい。正規の雇用先を増やし、また、その方針を明確に社会に打ち出してほしい。率先して自治体の臨時や期間付き職員の待遇改善を行ってほしい。水道民営化は、本当に県外に逃げ出したいレベルの不安要素なので止めてほしい。宮城県の歴史的な産業構造と県民が大事に思うものを大切にしてほしい。(女・30歳～)
- ・ 行政のトップダウンで物事が進んでいくのではなく、ハードもソフトも市民とともに作っていく姿勢を持ってほしい。また、教育、イベント、買い物…何事においても市民が消費者になっていくのではなく、市民も自発的に動き、様々な場面で生産性をもって暮らしていきたい。(女・30歳～)
- ・ 国のお粗末な政策に踊らされる事無く、自身の地域を活性化させる政策を打ち立ててほしい。また、昨今公務員としての責任を果たす事無く、当たり障りのない対応しかしない職員も見られる為（他県含む）、公務員になったからには、公務員としての責任を全うして頂きたい。(男・30歳～)
- ・ 県民を無視しない県政であれば良いです。人口減少は自分たちの責任であることを認識してほしい。(男・30歳～)
- ・ 多くの人が愛着を持っている宮城県美術館の移転について、県民意見を無視し、強行に押し進めていることに、憤りを感じている。基本的に住民の意見をあまり聞かないというイメージがある。その点を改善し、県民意見をしっかりと反映する県政にしてほしい。(男・30歳～)

- ・ いつも説明会などと名乗り、県が勝手に決めたことを、住人に説明するだけ。自分たちが不利になることは、いつもそうです。意見交換会、討論、議論、住人の声を聴く姿勢がゼロ。美術館移転問題、宿泊税問題。見ていて、恥ずかしいです。説明会に行くのにだって、人様が貴重な時間とお金を割いて行っているのです。それを、「知事が忙しいから」という理由で、納得のいかないまま打ち切りしたのを、テレビで見ました。大人として、恥ずかしい行為だと思いませんか？他人のお金をあてにするのは、もうやめてください。誰だって、好きで宮城県なんかに住んでいませんから！！！！！！！！（答えない・30歳～）
- ・ 汚い大人が蔓延る。（男・15～19歳）
- ・ 変なものに拘らないでほしい。（女・15～19歳）
- ・ 正直なところ、こんなというものは今の現状からは何も言えない。良くしようという気がサラサラないのに想いを求められても困る。（男・15～19歳）
- ・ 宮城県民は東北地区及び全国からの転入者が多いせいか人格面に難のある人間が多いので自覚し改善すべき。（答えない・25～29歳）
- ・ 休みの日、朝外に出ると清々しい鳥のさえずりと元気な子供達の声、それを見送る円満な夫婦、老眼鏡を首にかけ縁側に腰掛ける老夫婦それぞれがまだ未来に希望を持ちながらも『今』にしっかり焦点を当てている。平日、カーテンを開けて外を見ると孫が駄々をこねてしょうがなく飼いだめた犬に引きずられるお爺さんとお婆さん、妻に「ついでにゴミ出しお願い！」と言われゴミ袋を片手に持ち歩き出す旦那、友達と横一列に並び怒られる登校生たち。不満はあるが幸せが確かにある宮城県であって欲しいです。（男・15～19歳）

柱1 富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進

- ・ 地域産業を盛り上げ、人口流出に歯止めをかける観点から、地域の中核となる企業を発掘・創造できるような環境を、創業ステージから描ける地域であってほしい。（男・25～29歳）
- ・ 商売上手になってほしい。（女・25～29歳）
- ・ 県内の経済格差が小さい県。（女・20～24歳）
- ・ 希望はたくさんありますが、まずは身近なところから……。産業振興が第一でせう。それからが社会福祉制度及び環境の整備かと考えます。（男・30歳～）
- ・ 昔のように水産関係に活気がない。少子高齢化で先細りを痛感している。自営業だと他県に引っ越しもできずにいる。老後が安心して暮らせるレベルになってほしい。（女・30歳～）
- ・ インバウンド等で注目されている観光産業よりも、圧倒的に、製造業が生み出す経済波及効果は大きく裾野が広い産業だと思うので、今後も宮城県が豊かであるように、積極的な製造業の誘致をしていただきたいです。（女・30歳～）
- ・ 年齢だけでなく、職業ごとに密着した事業の展開があると良いと思う。（男・15～19歳）
- ・ 常に自然が豊かであってほしい。そこが宮城が誇ることが出来るところだと思う。また、最低賃金が低いために県内での就職も考えづらい。（答えない・15～19歳）
- ・ 何よりも雇用の充実と一体感が大事だと思う。（男・15～19歳）
- ・ 就職を控えている立場として、都内に集中する大手企業を仙台やその他の地方都市にも分散させてほしい。（女・15～19歳）
- ・ 仙南地域も働き手があり、交通の便が良くなって欲しいと思う。そうすれば、雇用が増える為人口も長期的に多くなると考える。（男・15～19歳）
- ・ 高い収入が見込める雇用があり、自立的な強い経済を持っている県。公共交通が充実し、自家用車に頼らない生活ができる地域。あらゆる災害に対応できる強い防災インフラを持った県。（男・20～24歳）
- ・ うつ病などで退職したあと、社会復帰しようと思ったときに働き口が存在すること。過去に患った病気が原因ではない、と不採用理由で言われても、どこか必ず過去のうつ病が原因で不採用にされているだろうとは思っている。だからどうかそのような人であっても受け入れてくれるブラックでない勤め先もしくは受け入れてくれる場所がなくても働いているのと同等の金銭的保障が欲しい。そのままでは生きていくことができないから。まるで社会に「死ぬ」と言われている

ようだから。(女・20～24歳)

- ・ 私は宮城出身で、別に宮城に愛着がないわけではないです。むしろ地元で就職ができるなら、したいですが、現実問題として宮城で就職しようとするのが公務員か教員しかないというのは厳しいです。(男・20～24歳)
- ・ とにかく雇用です。最大都市である仙台市ですら、支店経済のため地元就職にはなりません(いずれ転出する)。「仙台ですら良い地元企業がないんだから市外もたいした企業がないだろうし、やっぱり宮城から出るしかない」という思い込みもあるのではないのでしょうか。地元企業の充実はもちろん、PRもまだまだ足りないと思います。就職に直結する立場の高校生大学生の意見を建設的に取り入れた雇用政策の立案が求められると思います。(男・20～24歳)
- ・ 観光を中心に魅力ある土地ではあるが、働く際に希望する仕事がある土地だとは思えない。給与水準を高めることと、起業など新たなビジネスを促す政策を推進して欲しい。(男・20～24歳)
- ・ 今の若者は低収入で結婚や子育てが出来ないと思っている人が多いと思います。そのために、少子高齢化が進んでいるように思います。私は農業に従事していますが、低賃金低休日なので辞める人が半数です。農業の発展、後継者育成のために支援をお願いします。(男・20～24歳)
- ・ 若者が就職後も成長し続けられるような仕事・企業がある宮城県。(女・20～24歳)
- ・ 関東への就職を希望する友人が言うには、様々な職種があり、賃金も高い点が関東の魅力であるとのことだった(もちろん他にも様々な意見があるだろう)。若者も誰でも安定して働きに合った給料を受けとることは、生きていくうえで欠かせることができないものである。したがって、地域に定住させるためには安定した雇用は重要である。(女・20～24歳)
- ・ 安全で様々な施設が充実し、高い給料を得られる職場がある県。(男・20～24歳)
- ・ 非正規雇用で現在働いている。正規雇用採用数を増やしてほしいです。非正規雇用で給料が安くてみんな都会に行ってしまうています。過疎地域だと募集している職種は介護職がとて多いので、その差をなくして、県内どこでも同じになってほしい。(女・20～24歳)
- ・ 最低雇用賃金を上げてほしい。(女・25～29歳)
- ・ 宮城県内における就職先の選択肢が格段に増えれば、県内に居住したいというインセンティブが働くと思います。(男・25～29歳)
- ・ 私の住む東松島市は、環境未来都市に選ばれ日々住みやすい街へと変貌しています。若い人が地元に残る選択としては、雇用の充実がもっとも大事だと思います。交通の便は、震災後仙石東北ラインが開通され仙台も身近になったと思います。宮城県は、東北の中心であり日々多くの分野で進んでいって欲しいと思います。(男・25～29歳)
- ・ 雇用の面では、被雇用者が大事にされる宮城県であってほしい。交通の面では、バスと一般車の駐停車による交通渋滞を軽減してほしい。(男・25～29歳)
- ・ 多くの若者が宮城県へ住み続けるためには、何より「雇用の充実」が必要だと考える。企業が来県しやすい環境や条例の整備を進め、積極的に誘致していきたい。県外へ出る多くの若者は、大学進学や就職を機に県外へ行き、そのまま戻って来ないケースが多いと思われる。地元もしくは宮城県へ戻りたいと思わせるには、県外に住む今の暮らし以上の豊かな環境、魅力、暮らしやすさが必要である。10年後の宮城をこうやって一緒に考えていける、この開かれた機会に感謝申し上げます。(男・30歳～)
- ・ 宮城県出身の者です。宮城県の発展には優秀な人材が必要です。しかし、現状では、宮城県で育った優秀な人材(特に技術系)の多くは県外に流出してしまいます。理由は、雇用が足りていないためと考えます。雇用の充実は、大変難しい問題とは思いますが、これからの宮城県の発展のために、ぜひ重点的に取り組んで頂ければと思います。(男・30歳～)
- ・ 宮城県出身の若者は、就学・就職を機に県外に出ることがあると思います。しかし、就職で有名企業を求め、仮に志望通り就職できたとしても、仕事と生活とがどちらも充実するとは限りません。宮城の若者が必要とされ、生き生きと活躍できる仕事を用意することが、我々中小企業者の役割だと自認し、事業の充実と広報含め発信力の強化を図ります。それは県外からの若者への訴求にも繋がると思います。宮城県に興味をもった若者が、子供も含めて安心して笑顔で暮らせる環境づくりが、県内に定住することに大切だと思います。自然と都会とのバランスが心地よい宮城県であり続けてほしいと心から願います。これからも県政運営、頑張ってください。(男・30歳～)
- ・ 地方の雇用充実。賃金の増加。都市圏には無い魅力を県の内外に出していただきたいです。(男・30歳～)

- ・ 東北の中心地として東京でできることがほぼできる地域であることが必要であると思う（給料の高い雇用、様々な小売店舗等）。東京でできて宮城でできないことが多ければ若者は宮城に魅力を感じないのではないかと。宮城独自の魅力を追求するのは効果が薄いと思う。（男・30歳～）
- ・ 全ては良質の雇用、これに付きます。仕事がないから出て行く、仕事があるところに移動することにより人口に変化が起きれば、それ以外のファクターは勝手に後から付いてきます。（男・30歳～）
- ・ 人口や市場規模で国内トップになることは困難であるが、現在トップの東京や日本各地からのアクセス、元々の資源（特に第一次産業）を考えればポテンシャルが高い県であると思う。特に雇用環境（産業特性、年収）は改善の余地と可能性があると思う。地域特性を活かした魅力ある宮城になるように協力出来ることがあるなら喜んで行きたい。（男・30歳～）
- ・ 首都圏出身で、満員電車や人口密度の高さが嫌でほどほどの地方（イオンモールがある程度）に移住したかった。雇用さえあればそういう需要は多いのではないかと。逆に、ずっと地元にいる人は地元の魅力を認識していないことも多く、地元民と移住民がうまく刺激しあって思考に流動性のある町になると良いと思う。（答えなし・30歳～）
- ・ 最低賃金も高く、正社員も多く、宮城県民が県内でも遊んだり、旅行したりと県内でも楽しめるようになって欲しいです。副業などして収入を多くしても、疲れて旅行や遠出をしたいと思えなくなって、楽しめません。（女・30歳～）
- ・ 現実の問題として、住み続けるために雇用が充実していることが前提と考えます。いまは、支店経済で地元の企業への就職は少ないと考えますが、地元企業に自力があれば、進学などで一度転出して、また戻ってくる若者も増えると思います。転職を検討した場合には正直に言って魅力のある企業が少ないのと、それほど門戸は広くないと感じます。企業への支援には力を入れてもらいたいです。子育ての面ではミクロな視点ですが、仙台駅～名掛丁～のアーケードには子連れでは生きにくいです。トイレも少なく、遊べる場所も少ないです。外資のIKEAでも、子供を遊ばせて買い物できます。大型のショッピングモールでも、必ず無料の遊技エリアや有料でも遊べる場所があります。エスパル東口～一番町まで歩いて一ヶ所もないのはお粗末様です。（男・30歳～）
- ・ 若者の仕事が豊富で活気にあふれた宮城県。（男・30歳～）
- ・ 観光客が多い。（男・15～19歳）
- ・ 世界から見ても、いつか行ってみたいと思ってもらえる宮城県。（男・15～19歳）
- ・ ラーメンの町仙台。（男・15～19歳）
- ・ ポケスポット、ジム、地域限定ポケモン。（男・15～19歳）
- ・ 観光面の部分をもっと強めて欲しい。中心市内でも活気がある時とない時の差が大きいように感じられるため。（女・15～19歳）
- ・ 食べ物が美味しい。（男・20～24歳）
- ・ 地元に戻った時に、旅行に行きたいと思える宮城県。（男・20～24歳）
- ・ 訪問した際にはほっとする場所であってほしい。（男・20～24歳）
- ・ 教育や医療機関は充実してると思います。「どこ行く？」となった時にいきたい場所や食べたいものが沢山思い浮かぶような県だと嬉しいです。（女・20～24歳）
- ・ ラプラスを押し続けて欲しい。（男・20～24歳）
- ・ その他の地域から多くの人がある、活気のある地方都市。（男・20～24歳）
- ・ 各地域のイベントや買い物施設をもう少し充実して欲しい。また、観光地やご当地グルメを増やして他県に宮城県をアピールして欲しい。（女・20～24歳）
- ・ もっとインバウンドを増やすべきだと思います。いまだ海外旅行へ行くと、外人からの宮城県のイメージは「地震」「放射能」が強いです。そのイメージを取っ払うような宣伝や広告、国際線の増量、交換留学の簡易化が必要だと思います。仙台空港の立地は他県と比べ、市街地から近いです。電車で25分です。成田空港でさえ、特急で45分はかかります。その点をうまく生かし、インバウンドのみならず、他県からの旅客を増やす宣伝材料にするのはいかがでしょうか。また、宮城県へのワーキングホリデーを海外へ提案するのも一つだと思います。宮城県在住の外国人への対応も今後、もっとよりよくなるのを期待しております。例えば、現在K-POPの人気がありますが、宮城県在住の韓国人との交流会や、語学学習等、うまく若い子をターゲットにするような宣伝を打ち出し、交流会を行うのも手だと思います。

私も足を運びたいと思います。私も一度は、東京で仕事をしましたが、帰ってきた宮城県人なので、今後よりよくなるよう期待しております。※現在、仙台駅前にもないので、どうかしてください笑（女・20～24歳）

- ・ 仙台市青葉区の街中ばかりが目立っているが、その他の地域にも観光資源になる様な場所はあるため、街中から近い距離以外にも観光地として目を向けるべき。（男・25～29歳）
- ・ 東北では、大きな街でとても観光客も多い県だと思います。レジャー施設が少ないなという印象を受けるので、色々な企業誘致をして、郊外の大きな土地も利用出来れば良いかなと考えます！宮城県の美味しい食ももっと全国・海外にも届いて欲しいです。（女・25～29歳）
- ・ 観光で人を呼んでも人は、定着しない。何もなくても人を引きつける場所はある。もう少し人との関わり方を考えていくことも一つのヒントになるのでは？わからないけど。（男・30歳～）
- ・ 県内探索ツアー（年齢別）のような企画があったら色々な地域も知れて、楽しければまた行こうとなるので、あったらいいな～。（男・30歳～）
- ・ 宿泊税の導入はやめた方がいいと思う。観光客は減ると思います。（男・30歳～）
- ・ おもてなし、とは、何なのか。自分たちの不足、至らない面を、他人のフトコロでまかなってもらおうとするその姿勢には、ほとんど呆れました。どうせなら、宿泊税ではなく、日帰り税をして欲しかった。ホテル旅館に来て、安い日帰りの料金で、温泉、お部屋、食事と、期待以上のサービスを、低料金で求められているからです。でも、それは本来のホテル旅館の利用の仕方ではありません。低料金でまさに、「おいしいところだけ」を享受しようとしている人がいるのは事実です。そういう方たちにこそ、「日帰り税」なるものを、実施して欲しいです。宿泊の方は、日帰りの方の倍以上の料金を払ってもらっており、これ以上、お客様に負担をかけるのは申し訳ないと思う。日帰りの方が得するシステムが、宿泊税であり、日帰り利用を促進しかねない制度です。そのため、宿泊税が導入されたことで、かえって税収が減るおそれもあります。日帰り税が導入されましたら、大いに賛成いたします。実際の所、宿泊の方よりも、日帰りの方のほうが多いので、税収も期待できると思います。お支払いいただく金額も、全く高くありませんので、日帰り税300～500円徴収されましても、全く痛くもかゆくもないと思います。（女・30歳～）
- ・ 宿泊税ではなく、日帰り税の具体例のための投稿。
【例】現行日帰り温泉500円・日帰り休憩2500円⇒例
日帰り温泉税 パターン1：日帰り温泉500円+日帰り税300～500円加算 パターン2：日帰り休憩2500円+日帰り税300～500円加算
※日帰り利用は個室休憩、大広間休憩を問わない。ホテル・旅館・ペンション等宿泊許可を得なければ営業できない施設に日帰り利用した者へ加算。温泉であるかどうかは問わない。（女・30歳～）

柱2 社会全体で支える宮城の子ども・子育て

- ・ 大人の遊び場が多い宮城県よりも子供達の遊べる場所が充実してほしい。（女・15～19歳）
- ・ 子育て世代が住みやすい街であってほしい。（女・15～19歳）
- ・ 昔のように子供が外で好きに遊べる環境があり、子供がのびのび過ごせる県であってほしい。原発や宿泊税などの前に、エネルギー資源を確保し資源に対して不安を減らしていける県であってほしい。（男・20～24歳）
- ・ 子育て支援、就労支援がより充実した宮城県。（女・20～24歳）
- ・ とにかく子育て支援を充実させないと若者の定住は望めず、ますます少子高齢化が進むと思う。本当に少子化を解消したいのなら、子育て支援をまずは整えるべきであると思う。（女・20～24歳）
- ・ 少子化や人口減少が進んでいるので、まずは子育て支援を手厚くして安心して妊娠、出産、育児ができる環境を整えてほしい。今のままではとても将来子どもを産もうとは思えない。（女・20～24歳）
- ・ 子育てしやすい、また、高齢者も住みやすい宮城県であってほしいと思っています。（女・20～24歳）
- ・ 自分が高齢者になったときの心配よりもむしろ、これから生まれてくる子供たちの将来を心配しています。使える財源が限られているという現実を鑑み、子供たちファーストの制度がどんどん充実していき、彼らにとって生きやすい県になって欲しいと思います。（女・20～24歳）

- ・ 移住者の確保において、雇用の充実や住宅の確保、交通の利便さについては、住んでいると当たり前と感じますが、他県と比べると宮城県は充実しており、魅力だと思います。一方で他県の人に宮城県を知ってもらう（他県から宮城県への移住想定）、他市町村の人に市町村を知ってもらう（県内市町村から県内市町村への移住想定）には県内、市町村内でのイベント等の開催により、自治体の魅力を知ってもらい、移住を考えてもらうきっかけづくりを行う必要があると思います。また、本格的な移住を検討する上では実際に移住を考えるのは子育て世代が多いことから、保育教育環境の整備が必要となり、特に保育園の確保による待機児童の減少が課題になり、待機児童が多い地域への移住には消極的になると思われます。（男・25～29歳）
- ・ （宮城県は他県と比べ子育て世帯に対する支援が希薄と聞くので）将来的に子育て環境が改善されていてほしいと思います。出産～育児の期間に留まらず、子どもの高等学校進学程度までの支援の充実により、子どもを望む人が、様々な経済環境・生活環境を理由に子どもを諦める選択をしなくていいような制度整備を望みます。（女・25～29歳）
- ・ 財政に余裕があり、特に子育て世帯に優しいまち。（男・25～29歳）
- ・ 子育てにお金がかかると聞きますので、費用補助と、環境整備をして欲しいと思います。（女・25～29歳）
- ・ 子育て支援に力を注いでいただき、ありがとうございます。これから、より少子高齢社会が進むことが心配です。宮城県にはぜひ、他の都道府県に先立って、子育て世代と子育てを終えた世代が関わる地域づくりを行なってほしいと思います。今のお母さん方は子どもを近所の公園に連れて行くよりも、入園を希望する幼稚園や保育園へ行っています。そのため、お母さん世代も仕事を終えた世代の方も昔のような地域のつながりはほとんどありません。これから先、また震災が起きた時、地域で助けあえるのか。とても心配です。共働きで仕事をされている方も多いので、地域での助け合い、繋がりが少しでもあるといいなあと思います。これからも、素敵な宮城県でありますように。（女・25～29歳）
- ・ 出産・子育てに強い県であってほしいです。（男・25～29歳）
- ・ 子供を安心して育てられ、進学先を選択できるような場所。（男・25～29歳）
- ・ 子育て支援・環境の充実。県として独特な（斬新な）学校の運営。教職員先生方の負担軽減と働き方改革の急務。学校支援本部（スーパーバイザー）の重視。そのスーパーバイザーを担う人への支援（賃金アップ）。民生委員の担い手不足対策（賃金アップ）。不登校・いじめ・ネグレクト・片親支援などに対峙している団体などと県の連携重視と、支援拡大。PTA改革。子育て中の親への、「パパママ」講座（躰方）などの頻繁な開催。父子家庭支援の改善と充実。兎にも角にも、子育てに手厚い支援をする県へ！子育てにお金をかけない県（国）に未来は無い！（男・30歳～）
- ・ 今後ますます高齢化が進んでいき、介護・福祉事業の更なる充実を求められると思いますが、その一方で子育てに対しての支援策も急務だと考えています。待機児童等の生活環境に直結する問題を早急に解決していただき、乳幼児から高齢者まで安心して暮らせる社会を構築してほしいと願っております。（男・30歳～）
- ・ 人口減少、少子化が進むなかで地域が減衰しないように子育て世帯への医療費、住宅支援の拡充や減税政策を求めたい。（男・30歳～）
- ・ 子どもが安心して暮らし続けられるような県であってほしい。（男・30歳～）
- ・ 高齢者よりも、これからの世代を担う子供達や、若い世代に住んでもらえるような政策を推進してもらいたい。（男・30歳～）
- ・ かつて新しきや珍しきを好み、「伊達男」という言葉を生み出した伊達政宗公の治めた土地でもある宮城。そんな宮城県には、県内全域にわたって教育や学術振興に対する援助を惜しまず、将来を担う子どもや若者達への投資を積極的に行う県になって欲しいと思います。「学都仙台」ではなく、「学都宮城」を目指して欲しい。（女・20～24歳）
- ・ 低収入の家庭でも充実した学びを受けられる環境づくりをしていただきたい。収入の差が学力の差にならないよう、努力をする児童への支援をもっと手厚くしてほしい。少子化が騒がれているが、子供を育てるのにもお金が必要で、正社員共働きでも家計は厳しい。もっと未来の宮城県を支える子供に投資してほしい。（男・20～24歳）
- ・ 子供たちが夢を持ち、それを目指せる場所。叶えるかどうかは個人次第だが、そもそも環境が整っていない等は論外である。地域で（あるいは有志で）協力して、子供たちの成長を支えたい。（男・20～24歳）
- ・ 子どもの主体性を考えて欲しいです。子どもの権利条約には、余暇の権利がありますが、教育に割かれる時間が長く、休んだり、遊んだりできません。そんなまちでは子育てしたくないです。（女・25～29歳）

- ・ もっと柔軟に新しいものを取り入れる力が欲しい。宮城県は人の出入りが激しい割には、昔からの文化や慣習に囚われすぎている。今の時代に合わないものから淘汰されるべきである。特に小学生の学力が上がらないと言う前に、書き初めのような学校単位で負担になることをやめるのが先だと思う（作文宮城も同じである）。文化面でも、音楽や芸術が育っていない。そのことにもっと真摯に向き合って欲しい。（男・25～29歳）
- ・ 教育環境の充実を強く望みます。教育に大胆に投資をしていくことで、未来の宮城の発展に貢献できる人材を確保することができます。具体的には、1クラス30人学級の実現や、学力向上を柱とした施策の充実などがあげられます。（男・25～29歳）
- ・ 教育に力を入れてほしいです。やはり県内全体として学習をする子どもが減ってきていると思います。運動は頑張っている子どもは多いのに、勉強をしないといけなさと感じている子は少ないと思います。若者の定住を目的とすると、進学で宮城に来てから魅力を感じてもらい定住に移ることが多いと思うので、大学の魅力が上がると少しずつ増えるのかなと。（男・25～29歳）
- ・ 過疎地域でも学校教育や医療施設などが充実してほしい。私の地元では学校の統廃合が進み、小学校も少なくなり、高校も定員割れのためいずれは廃校されると思う。ますます少子高齢化が進んでいて寂しいと感じる。環境が整っていないため私自身も結婚しても地元へ戻る見込みはない。（女・25～29歳）
- ・ 地域の未来を支えていく子供たちが豊かに暮らせるような環境があってほしい。（男・30歳～）
- ・ 関東、関西、東海地方に匹敵する初等、中等、高等教育環境（機会、質ともに）と、宮城県で学んだ若人が社会接続を地元で容易に行える雇用環境（機会、質、給与水準）の充実。（男・30歳～）
- ・ いじめによる自殺が多すぎる。このままでは子育て世代は増えないと思うので、教育委員会にはいじめ問題に本気で取り組んでもらいたい。（女・15～19歳）
- ・ 子供が安心できるような学校、いじめのない学校。（女・15～19歳）
- ・ 学校でのいじめに対する厳しい姿勢をとって欲しいと思います。（男・15～19歳）
- ・ 宮城県は、いじめが1番多い県です。交通網が発達して、買い物が便利だとしても子供間でのいじめの多いことを聞くと、あまり住みたいと思えません。神戸の教師いじめでは、大人のいじめに比例するように子供同士のいじめも増えたと聞いた事があります。宮城においても、大人の姿が反映されていると思います。家庭で上手く愛を受けてないため、感情をコントロールできない子供が増えていると思います。また、飲食店で、家族なのにスマホをいじり一言も話さない姿を見て心配になりました。（女・20～24歳）
- ・ 最近いじめ自殺等のニュース等で、宮城県の教育体制に不安がある。そういった不安の解消を行わなければ、少子高齢化に歯止めはかからないと思います。（男・25～29歳）

柱3 誰もが安心していきいきと暮らせる地域づくり

- ・ 福祉制度が整っていて、かつ全ての人が過ごしやすい環境（ユニバーサルデザインのようなものを多くする）。（女・15～19歳）
- ・ 県民皆が健康で元気に過ごせる宮城県になってほしい。（女・15～19歳）
- ・ 社会福祉が充実した県であってほしい。（男・20～24歳）
- ・ 人が温かく、医療などが整っていて安心して生活できる宮城県であってほしいです。（女・20～24歳）
- ・ リガーレ仙台によるバレー教室や、認知症に関する講演会を実施して欲しい!!また、白川地区に限らず、スーパーやドラッグストア、プレハブフードコートなどを整備して欲しい。（男・20～24歳）
- ・ 誰もが生活しやすい県であってほしいです。障害福祉サービスを充実させてほしいです。（女・20～24歳）
- ・ 福祉が充実していて、楽しいイベントや、地域の催し物などが、活発に行われる。他県からの移住者なども増えて、新たな風が吹くような新陳代謝がいつもあるような場所になってほしい。（男・30歳～）
- ・ 障害や病気を理由にしたくはありませんが、何度も転職を繰り返した末にまた失職予定の為何も希望を持ってません。障害や病気への理解が無い人に嫌われ、いじめられ、面と向かって罵られてばかりの人生に疲れました。仙台で生活していた頃もありますが、仙台ですら障害者雇用の実情は芳しくないと感じました。パラスポーツ等のお陰で身体障害者

の方々への理解は深まってきたように思いますが、精神障害者は未だに「頭のおかしい人」「近づきたくない人」として見られている念がどうしても拭えません。まずは差別や「こうあるべき」という押しつけを無くしていただきたいです。ぱっと見ただけではそうだと分からない社会的弱者が、少しでも生活しやすくなる宮城県になることを強く望んでいます。(女・30歳～)

- ・ 県民が皆健康であり、他都道府県に蔑まれることのない魅力溢れる県。(男・30歳～)
- ・ 福祉、インフラ、防犯の充実を。物価が少しくらい高くても、見返りがあれば、そこに住民は住み着くよ。(男・30歳～)
- ・ 若い世代がたくさんいる社会の創造に努め、少子高齢化対策の成功のパイオニアになってほしい。(男・15～19歳)
- ・ これからも学生や若者が挑戦しやすい環境が構築され続けて欲しいです。(女・20～24歳)
- ・ 宮城の未来を担うはずの若者が進学や就職とともに県外に出てしまうのは、宮城にとって大きな損失だと思います。進学で一度県外（特に首都圏）に出ると、再び戻ってくる可能性は高くありません。地元で働くことに希望ややりがい、そして人生設計上のメリット（金銭面など）があることを学生に気づいてもらう仕組みが必要です。また、宮城県には仙台・松島、県北、三陸、仙南・蔵王といった、それぞれ異なる魅力をもつ地域があるということを県内外に強く発信し、特に県民自身に魅力を気づいてもらう努力が必要だと思います。実際、北部の人は仙台に行っても南部には行かず、その逆もしかりです。また、仙台の人は仙台周辺から出る機会が少ないと思います。(男・20～24歳)
- ・ 若い人材が豊富な宮城県であってほしいです。(男・20～24歳)
- ・ 若者たちが社会で活躍できる県であってほしいと思います。(男・20～24歳)
- ・ 若者の意見を取り入れてほしい。仙台はいいだろうが、ほかの街は不満が出てくると思う。(女・20～24歳)
- ・ 住んでいて息苦しい街では人間が流出するばかりである。高齢者が多くなれば、それに向けた政策、施策、対策をするのは当たり前だろうが、それを見る若年層は自分達を蔑ろにされていると感じるかもしれない。勿論それを思い地元を離れるのは若者の勝手である。実際に地元を離れ、帰りたい、懐かしいと思う気持ちは少なからずある。でも実際には帰らないと考える。息苦しいからである。人間の心をもっと見てほしいと思う。(男・20～24歳)
- ・ ワカモノの活躍をより一層、応援してほしい。もっと柔軟性を持たせてほしい。(男・25～29歳)
- ・ こども、若者の住みやすい宮城県に！特に若者がチャレンジしやすい、起業しやすい場になってほしい。ご老体は見守るべし！大企業にベッタリ、ハコモノ行政はもうやめて！（男・30歳～）
- ・ 若者が多く、活気がある県。(男・30歳～)
- ・ 若者がチャレンジしやすい社会であってほしい。そのために、行政職員、地方自治会、周りの取り巻く大人たち全員がもっともっと学び行動すべき。そうでなければ意味がない。(男・30歳～)
- ・ どの地域も活力溢れ、市民がイキイキと暮らせる宮城県であって欲しい。そのために、市民向けの講演会や市民とのワークショップを積極的に行い、前のめりで市民の声を聞きに行くべきだと思う。(女・15～19歳)
- ・ もっと積極的に自分のしたいことを実現しやすい環境があればいいなとおもう。(女・20～24歳)
- ・ 誰もが健康に自己実現が達成できるところ。(男・25～29歳)
- ・ 大きな災害が頻発し、誰しも突然弱者になり得る社会になっています。どのような立場になったとしても、目指す目標に向かってチャレンジができる社会・地域であって欲しいです。(男・25～29歳)
- ・ 一人一人が主体的に活動ができ、それを周りの人全てが応援しながら、誇りを持てるコミュニティに触れることができるような、豊かな生き方が実現できる地域。(男・30歳～)
- ・ 人のチャレンジに寛容な地域であってほしいです。(男・30歳～)
- ・ 他の都道府県が困った状況に遭ったとき、すぐに支援をしてあげられる。県内の他の市町村と交流イベントがある。学生に対する学びの環境が整っている。学生でなくても自由に学べる環境がある。(女・15～19歳)
- ・ 子どもも高齢者も子育て世代も障害がある人も誰もが住みやすい街であってほしいです。また、宮城には美味しいものや素敵な場所があるのでそれをみんなに知ってもらえるように発信できるといいと思います。(女・15～19歳)
- ・ 面白い人が集まる場所。(男・20～24歳)
- ・ 人口が多く、多様性を受け入れた街の雰囲気であること。(女・20～24歳)

- ・ 結婚＝入籍にとらわれず、事実婚やLGBTカップル、シングルマザーをしっかり歓迎する姿勢を打ち出せば、出産する人、特別養子縁組をする人も出てきて、子どもが少しでも宮城県に増えることになるのでは。これまでの結婚や出産の固定概念や既存制度に悩んでいる人たちが、宮城への移住を考えるのでは、なんて思ったりします。宮城県には豊かな自然、おもしろい地域の方たちがいて、魅力あるまちが多いと思いますが、仕事も頑張りたい身としては、結婚＝入籍、出産と子育て＝入籍した男女の夫婦、という制度にとらわれず、柔軟に対応する自治体があれば、そこで仕事もしながらより自由な形で家族をもてるのに、と感じます。(女・25～29歳)
- ・ 多様な属性をもつ人びとが気持ちよく暮らせて、かつ交わりながら生きていける地域であって欲しい。(男・25～29歳)
- ・ 人と人とのつながりが深いものがあって欲しい。(男・15～19歳)
- ・ どんなひとにとっても住みやすい、バリアフリーが多い、公共交通機関の充実、治安の良い、etc。(女・15～19歳)
- ・ 使われていない土地を持つと有効活用できると思う。田舎は土地があったらすぐコンビニを建てるのをやめたほうが良いと思う。(男・15～19歳)
- ・ 地域のダンスチームや町内会など、人が集まるきっかけになる団体や集団がしっかりと盛り上がっており、地域が元気なこと。(女・20～24歳)
- ・ 地方なのに東京みたいに誰もがまわりに無関心で非常に侘しく感じます。もっとつながりを感じられる地域になれば良いと思う。(女・25～29歳)
- ・ 地元の人が地元を好きと言える宮城県。(男・30歳～)
- ・ いつもの風景がその人にとってかけがえのない瞬間となるように、人々がふるさとに愛着を持ち、幸せを感じられるような宮城県であってほしいと思う。(男・30歳～)
- ・ 子どもも大人も老人も健康で交流がたくさんある県であってほしい。保育園や老人ホームの交流、役所と医療機関の交流、小中高校の生徒同士又は先生方同士の交流、外国人との交流などオープンな雰囲気があると思う。(女・30歳～)
- ・ 今まで通り。(男・15～19歳)
- ・ 特にないです。食べ物も美味しいしとても住みやすいです。(男・15～19歳)
- ・ いままで通りで良い。(男・15～19歳)
- ・ 楽しい。(答えない・15～19歳)
- ・ 自然が豊かで、お米がおいしい、これまでの宮城県であり続けてい居てほしいと思います。しかし、他の県に比べれば田舎だと思うので、宮城に残る若者が減っているのが現状です。だから、いろいろ施設を増やせばいいと思います。(女・15～19歳)
- ・ 家畜の匂いをどうにかしてほしい。(男・15～19歳)
- ・ 少子高齢化が深刻化する中で、県内のどの地域においても、高齢者と若者双方が快適に生活できる。東日本大地震で破壊された公共交通機関をできるだけとも通りにし、誰でも利用できる。リアス海岸や大自然を生かし、宮城にしかない唯一無二の観光施設、レジャースポットをつくり、観光客誘致を図る。(女・15～19歳)
- ・ 住みやすい町であってほしい。(答えない・15～19歳)
- ・ さらに住みやすい県になってほしい。(男・20～24歳)
- ・ みんなが住みやすいと思える宮城県。(男・20～24歳)
- ・ 住む場所として宮城県を選ぶ理由があるとよい。(男・30歳～)
- ・ ICT技術が地域社会に自然と溶け込み、より住みやすい環境が成り立つこと。(男・30歳～)
- ・ 自分自身も宮城県から出て生活をしたことがあります。若い人たちにずっと同じ地域で暮らし続けてくれといっても難しいのが現実だと思います。そうではなくて、誰にとっても帰ってきやすく、新しい人を受け入れる、懐の深い場所としてこの場所があり続けるととても嬉しいです。(男・30歳～)
- ・ 大学生が地元で就職せず首都圏に出てしまうのがもったいないと思います。もし首都圏企業に比べて給与が安いのがネックなのであれば、それを補う暮らしやすさや働きやすさが宮城県にはあると思ってもらえると良いと思います。宮

城県は社会人になっても住みやすい・子育てしやすいイメージを学生時代に持ってもらえるようなPRがあったらいいのではないのでしょうか。(女・30歳～)

- ・ 休日に大勢の人が行けるような大型の買い物施設を作って欲しい。今のイオンは小さすぎる。(女・15～19歳)
- ・ 買い物がらくにできる町。(男・15～19歳)
- ・ お店をもっと増やしてほしい。(女・15～19歳)
- ・ 現状に満足してはいるが、強いて言えば街中がもう少し綺麗なると良い。(女・15～19歳)
- ・ 暮らしやすく魅力的な場所であり続けてほしいです。(女・20～24歳)
- ・ 関東に住んでいても生活するなら東京よりも宮城だなと思ってもらえる地域づくりをしていきたい。(男・20～24歳)
- ・ 少子高齢化が進み、市町村の規模が縮小したとしても、県が行政サービスを補完することで、地域住民が住み続けられるまちを作してほしい。(女・20～24歳)
- ・ 禁煙が徹底している。(男・20～24歳)
- ・ 人口が減少し少なくなる税金を効率よく使用したり、親世代子世代とうまくコミュニケーションをとれるようコンパクトシティ化を推進してほしい。(女・25～29歳)
- ・ 仙台駅前の百貨店跡や低層の商業区画がもったいなく感じる。駅前という最高の立地を有効活用して欲しい。(男・25～29歳)
- ・ 40代以上でまちづくりや市政、議員、その他あらゆるシーンでマウントを取っている人間が、「次の世代へおくる」という概念に移り変われば宮城県でもどんな地域でも魅力的で、自由に個性を出すことができると思います。昨今若年層の移住などが促進されていますが、むしろ子どもが自立するなどして制約があまりない40代以上の方の移住その他を過疎化地域もしくは限界集落等で充実させるのも一つなのではないかと。(男・25～29歳)
- ・ 郊外型の都市形成がなされ、仙台地区では富谷・名取等へのドーナツ化現象が起きていると思うが、少子高齢、人口減少時代ではコンパクトな都市形成を進めていく必要があり、各圏域の中心部において住みやすい街づくりを勧める必要があると思う。(女・30歳～)
- ・ 歩行者の道と自転車の道を完全に柵などをつくって分けて欲しい。頭の悪い人間がそれを無視して通行してるので迷惑です。人間誰もが頭がいいとは限らないらしいです。(男・15～19歳)
- ・ 事件や事故が減るといいです。(女・15～19歳)
- ・ 交通事故が起こりそうな道がなくなること。(女・15～19歳)
- ・ 治安が良すぎる宮城県になってほしい。(男・15～19歳)
- ・ 犯罪が少ない。事故が少ない。おいしい食べ物がある。スポーツ・文化が共に活発。音楽の街。メタボの人の割合が少ない(恥ずかしいから)。(女・15～19歳)
- ・ 治安がよい。(男・20～24歳)
- ・ 安心安全の県といえば宮城県と言われるようになって欲しい。(男・20～24歳)
- ・ 安全で、便利などろだといいな、と思います(女・20～24歳)
- ・ 交通違反の取り締まりを強化して頂ける幸いです。特に、路上駐車が少なくなると良いと思います。(男・20～24歳)
- ・ 犯罪者が少ない。コンパクトシティ整備が進んでいる。自然が多く残されている。方言をもてはやさない(方言はグローバル化の障害になるだけ)。ワークライフバランスが進んでいる。(男・30歳～)
- ・ 電車などの公共交通網をもう少し増やして欲しい。(男・15～19歳)
- ・ 公共交通機関の充実。(男・15～19歳)
- ・ 公共交通機関を見直して欲しい。仙台駅付近に住んでる人はいいかもしれないが、そこから離れたところに住んでる人はどれだけ不便に思ってるのかちゃんとそこも配慮して欲しい。また私の住んでる地域は高齢者が多いこと、近くに高校があってバスの利用率が高いのに、バスの本数が少ない。平日には1、2本、土日は1本もないものもある。これはあってはならない事なのではないのでしょうか。もうちょっと各地域に寄り添って住民の声を聞くべきだと思う。(女・15～19歳)
- ・ 買い物や遊ぶ施設は満足しています。宮城県は魅力的な場所が多いです。しかし、問題はその場所へ行く手段が少ない

いのです。車で行くことがほとんどです。ですから、学生は運転出来る大人と一緒にないとそこへ行くことが出来ないのです。せっかく素敵な場所がたくさんあるので、もう少し交通の便が良くなればいいと感じています。(女・15~19歳)

- ・ 宮城県というより登米市に田舎が多すぎて電車や運営バスなどが少ないから移動手段があまりないから不便。(女・15~19歳)
- ・ 交通の便が悪いからもう少し便利になればいいと思います。(女・15~19歳)
- ・ 今と変わらず自然が豊かでありつつも、交通の便が良くなり買い物ができる施設を増やしてほしいです。特に、私のもともと住んでいた柴田町とは別の地元は、田舎で交通や買い物の面で不便だったので、宮城県全体をもっとより良い住みやすい町にしてほしいです。(女・15~19歳)
- ・ 交通費があまりにも高いと思うので、比較するべきだと思います。また、東西線を仙台港付近まで開通させ(アウトレットにつなげるため)経済効果を生むべきだと思います。(女・20~24歳)
- ・ 県民全員が平等に仙台中心府にアクセスできる宮城県。(男・20~24歳)
- ・ 今の緑が多く、交通の便が良いところはとても便利で好きな地域です。現状を守っていただけるとだいぶ満足です。(女・20~24歳)
- ・ 地方の町村は、バスの本数が減り、車を運転できない学生や高齢者が他の町などに移動するのが大変だと感じるから、仙台近郊以外でも、移動手段の充実した宮城県であってほしいです。(女・20~24歳)
- ・ 仙台市以外の交通がもっとスムーズなら県内で行きたいところに行けるのに、公共交通機関の値段が高いせいで行けないことがある。(男・20~24歳)
- ・ 県の東西を行き来する交通手段がすごく弱いので、ちょっとでも出掛けづらいと都市部に移り住むきっかけになってしまうと思う。地元に残りたいのに残れない若者を生んではならないから、食い止めるためにも子育て環境や5Gのような通信環境や便利な交通網を仙台以外にもっと普及させて欲しい。なおかつ、丸森でタピオカが食べれたり、女川の商店街がおしゃれだったりするみたいな、デザイナーのセンスのあるまちおこしを進めれば、東京に出ていく若者は戻っても宮城を楽しめるかなって思えるんじゃないでしょうか。県外から入ってくるお金を歓迎するより、県内から飛び出そうとしかけている高校生たちの夢を叶えてあげて…！(男・20~24歳)
- ・ 交通機関が充実しており、また若年代が次世代の子供を育てるためのお金を奪わないような県であってほしい。(女・20~24歳)
- ・ ぐるっと回れる環状線のような電車があれば、もっと利用する人が増えて色々な場所に行く機会も増えると思う。今でも十分、私的には過ごしやすいが、今後結婚したり、子供ができると考えると、子育て支援制度などをもっと充実させてほしいのと、もっと周知してほしい。今のままじゃ分りにくい気がする。(女・25~29歳)
- ・ 公共交通機関の充実や次世代型自動運転バス・タクシーの積極的導入など交通改革により、子供・高齢者・女性の移動手段を確保するとよいと思う。新卒社会人が社会人1年目で就労を目指す大きな企業があると若者の長期的な定住に繋がると思う。仙台・宮城圏は関東圏へ人材を多数流出させており、長年の問題となっている。(男・25~29歳)
- ・ 35才です。幸い、25才の時に就職先が宮城県で手に入り、東京から戻ってきました。交通や環境計測の情報は個人発信では信頼性の観点から相手にしてもらえませんが、行政にしかできないことにぜひ注力して頂きたいです。(女・30歳~)
- ・ 地方の公共交通機関の便が悪いように感じます。優先順位の観点はありますが、私は大衡村に住んでおり 買い物や飲み会は仙台に赴くことが多く、せめて富谷まで地下鉄が通っていればと思うことが多々あります。仙台に人口が集中している昨今、その周囲の公共交通機関を整えることで人口のバランス調整を図ることができるのではと考えます。(男・30歳~)
- ・ 住みやすい環境(公共交通の充実)で、海・山が近いのが、仙台のいいところだと思います。ので、公共交通をもっと広げてほしいです。(男・30歳~)
- ・ 公共交通機関の利便性を向上させて欲しいです(女・30歳~)
- ・ 仙台市外に住む若者が、転出せずに、仙台市内の学校や職場に通えると、若者の地方離れは減るかもしれません。学

生は経済的余裕が無いので、仙台への公共交通機関の利用費の助成や、社会人も交通費や住居費の助成があると、家賃と交通費を天秤にかけることが減るかもしれません。(女・30歳～)

- ・ 人が沢山集まる。ライブなどがあり賑わっている。(女・15～19歳)
- ・ イベントなどの娯楽の充実、また公共交通機関の整備が整っている県(男・15～19歳)
- ・ 杜の都仙台を守り続けてほしい。緑豊かな宮城県であってほしい。県外からも訪れたいような大きな遊園地などがあると良いと思う。(女・15～19歳)
- ・ もっと大きなライブ会場が欲しい。グランディから仙台駅のアクセスが悪すぎるから便利にして欲しい。大きなレジャー施設が欲しい。(女・15～19歳)
- ・ 仙台周辺地域では、大きなショッピングセンターや様々なイベントなどが開催されるが沿岸部ではあまりない感じがします。石巻だと片道1時間程かかるので…沿岸部にもそういう施設を増やして行ければなど…。また、気仙沼、南三陸あたりは少し孤立してる感じがするので交通手段などを広げて行って欲しいなと思いました。(女・20～24歳)
- ・ 仙台圏以外の地域にも娯楽施設などを作れば、もっと活発化すると思う。(女・15～19歳)
- ・ 交通の便もよく住む分には苦労しないし住みやすいとは思いますが、それ以上に魅力的なものがない。遊ぶ施設とかお祭りとかイベントは東北が一番魅力がないと感じる。(女・20～24歳)
- ・ ライブ会場がなさすぎる～。～キャパが小さすぎる～～～～。アイドルもっと来て。(女・20～24歳)
- ・ 舞台やコンサート、大きなイベントなどは、どうしても都心部や関西などでの開催が多い傾向にあります。日本列島の北の方となると、東北を通りすぎて、北海道にいてしまいます。出演者や交通の利便性の上でも仕方の無いことなのかもしれませんが、せつかく仙台には新幹線が停まり、東北の交通の中心部でもあります。それを活かして、東北での文化の中心は宮城県だ！となるように、開催の誘致を行っていただきたいです。ひいては、宮城で活動されている役者や歌手、その他様々な文化に携わる方々の仕事の場になれば、もっと素敵な県になると思います。(女・20～24歳)
- ・ 東京、大阪、沖縄、のような「これ」と言った施設がないと感じているので、レジャースポットや遊園地など何か日本一のものがあると良いなと思います。(女・30歳～)
- ・ 10代の頃は、仙台まで行かないと自分の趣味のお店がなく、遊ぶ所もないと感じていた。そのため娯楽や商業施設に力を入れれば若者に人気が出ると思う。(女・20～24歳)
- ・ テーマパークがほしい。(女・15～19歳)
- ・ 宮城の歴史をアピールしつつ先進の技術を取り入れてほしい。(男・15～19歳)
- ・ 芸術文化や、創業文化の創出に力をいれた宮城県であってほしい。(男・30歳～)
- ・ 歴史や文化を大切にしたい。特に仙台市は歴史的・文化的建造物を平気で壊すクラッシュアンドビルドが過ぎる。また、自然環境をまもり、持続可能な暮らしができる町づくり・地域づくりが必須だと思います。都会的消費社会をしたい人は東京へ。宮城県は違う方向性で日本をリードして行くべきです。(男・30歳～)
- ・ 東北の中心として、文化・スポーツがもっと盛んな県になってほしい。また仙台駅前の一極集中ではなく、商業機能が面的に広がってほしい。(女・20～24歳)
- ・ スタジアムだけではなく仙台という街をベガルタカラーにして、盛り上げてほしい。(男・15～19歳)

柱4 強靱で自然と調和した県土づくり

- ・ 広瀬川周辺が綺麗に整備されればよいと思う。新潟市の信濃川のような足を運びたい川になるとよいと思う。(男・15～19歳)
- ・ 環境問題を真剣に考え、第2の関東圏を目指すのではなく、バイオリファイナリーを軸にした自然資源を活用した先端技術産業の中心地になってほしい。(男・25～29歳)
- ・ 仙台市だけに注力せず、災害と常に向き合いながら自然との共存を成し遂げられる県であってほしい。(男・20～24歳)
- ・ 自然と共存する都会であって欲しい。(男・15～19歳)
- ・ 自然豊かな宮城県であってほしい。(女・15～19歳)

- ・ 自然を大事にする。(女・15～19歳)
- ・ 宮城は自然も多く空気が美味しい場所なので、出来るなら本屋を多くして欲しい。メジャー施設が多過ぎると景観を損なってしまうかもなので、自然のある中での読書は宮城ならではの特徴として推進して行って欲しい。(男・15～19歳)
- ・ 自然豊かで東京ほどの混雑がない清らかな仙台、宮城の特産物を活かしたゆるキャラなど宮城らしく、ほのぼのとした感じでいて欲しい。私は宮城が大好きです。(女・15～19歳)
- ・ 自然と都会が調和した場所でありつつ、変化も受け入れ、対応できる県であってほしいと思います。(女・25～29歳)
- ・ 都会と自然の共存を感じられる街づくり。教育が進んだ街。(男・30歳～)
- ・ 空気がきれい。水がきれい。道路混雑しない。治安が良い。(女・30歳～)
- ・ もっと災害本部を強化してほしい。台風19号の甚大な被害が出ても動き出さないし、市民がプロジェクトを立ち上げて物資を受け付け始めているようじゃダメダメです。人口が減っていく中で、市民のことを考えず、住居に対して不満を持つ市民がいるにもかかわらず仮設住宅は建てない。それなのに、避難所から早く出て行ってくださいと言われる避難者もいるなんて。どういうことですか。そんな市だから住民がどんどん減っていくのだと考えています。もっと市民のために動いてくれる市になってほしいのでそれを願います。(女・15～19歳)
- ・ 東日本大震災の記憶を子供たちに伝えていける環境がこれからずっと整っていて欲しい。(女・15～19歳)
- ・ 宮城県は災害が多いというイメージしかない。その点で逆にいえば知名度はある。思い出された時震災に匹敵するくらい思い出してもらえるものがあればいいと思う。それがモノいうか雰囲気だったり空間だったりすると宮城県を誇りに思う人も増えてくると思う。(女・20～24歳)
- ・ 災害があっても安心して住める。沖縄の様に他の県からも住みたいと思えるような県になって欲しい。※沖縄は政治的に人口が増えているかもしれないがそれは除く。やはりいろんな世代で人が増える事は街が活気づいて良いことしかない。(男・20～24歳)
- ・ 東日本大震災などの大規模災害の経験があるため、防災・減災の先進都市としての役割を持てると良いのではないかなと思う。また、進学について手厚い保障があると良いと思う。保護者の所得のために進学を諦める、レベルを落とすというような経験があるため、これからの子どもたちが同じような思いで将来を諦めずに済むようにしてほしい。(男・20～24歳)
- ・ 河川(吉田川等)が氾濫することが多いので堤防や遊水地の強化などに力を入れてほしいです。また、仙台への公共交通機関がもう少し広まるとありがたいです。(女・25～29歳)
- ・ 大雨や台風が来るたびに避難勧告が出てこわい。川が氾濫したらと思うと、我が家には小さい子供もいるので引っ越したくなります。今よりもっと自然災害に強い宮城県になってほしい。でも河川の氾濫は止められないよね。(女・30歳～)